

貴族院第六十六回 帝國議會  
凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案特別委員會議事速記錄第一號

付託議案

凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付  
ニ關スル法律案

此法案ノ御説明ヲ願ヒタイト思ヒマス

モ、甚ダ適切ナコトデアルト存ゼラレル譯  
ギーラマク、本年、凶幸地ニ附ノマクノ

フヤウニ致シマスルコトハ最モ緊要ナコト

關スル法律案

○國務大臣(山崎達之輔君) 法案提出ノ大體ノ理由ハ本會議ニ於テ申上ゲマシタ通リデアリマスガ、此際重ネテ内容等ニ亘リマス

テアリマス。本年ノ作地ニ鑿シタル一  
般的ノ救濟施設ト致シマシテハ、只今衆議  
院ニ提案イタシテアリマスル豫算上ニ於キ

アリマス、即チ政府ハ右申上ゲマスルヤウ  
ナ條件ヲ有ツテ居リマスル市町村ニ對シマ

委員長 伯爵酒井 忠正君  
副委員長 男爵伊藤 文吉君  
公爵麿司 信輔君  
公爵島津 忠義君

マス、デ之ニ對シマシテハ色ニ施設ヲセナ  
ケレバナラヌコトハ少クナイト思ヒマスル  
ケレドモ、其一ツト致シマシテ是等地方特  
子爵片桐 貞央君  
子爵織田 信恒君  
子爵綾小路 護君

松村眞一郎君 有ノ事情ニ鑑ミマシテ、矢張リ凶年ニ對ス  
桑山 鐵男君 ル一ツノ備荒貯蓄ノ施設ヲ整ヘテ置キマス  
男爵足立 豊君 ト云フコトガ、本年ノ凶作ノ實情カラ考ヘ  
男爵杉溪 由言君 マシテモ、非常ニ必要ナコトデアルヤウニ

赤池	濃君	感ゼラレルノデアリマス、デ備荒貯蓄ノ施
石川	三郎君	設ハ既ニ御案内ノ通リデアリマシテ、成ル
油井	徳藏君	
岩崎	清行君	ベク平年ニ於キマシテ米又ハ他ノ雜穀等ノ貯藏ヲ致シテ置キマシテ、凶作ノ場合ニハ

其貯蔵イタシマシタル穀物ヲ以テ、其時ノ

九分開會  
○委員長（伯爵酒井忠正君） ソレデハ是ヨ  
リ開會イタシマス、最初ニ農林大臣ヨリ、  
凶作ニ因ル缺陷ヲ補フ、斯ウ云フヤウナ方  
法ヲ執ツテ置キマスルコトハ、一方廣イ意味  
ニ於ケル米ノ調節ト云フ上カラ考ヘマシテ

## 第四部第三類 凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案特別委員會議事速記錄第一號

昭和九年十一月七日

貴族院

マス、尙ホ又東北方面ノ實情カラ致シマシテ、其積立テマスルモノヲ米ニ限ルト云フコトハ、少シク實情ニ適シナイ感モゴザイマスルノデ、許可ヲ受ケマシテ米以外ノ雜穀等ノ貯藏ヲ以テ之ニ充テル、斯ウ云フ途モ設ケテ置キタイト考ヘル譯デアリマス、

マア概要左様ナ趣旨ヲ以テ此法案ヲ提案イタシタヤウナ譯デゴザイマスノデ、ドウゾ十分ノ御審議ヲ冀ヒマス、速ニ御協賛ヲ賜ハルコトヲ切望スル次第ゴザイマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ止メテ  
(速記中止)

○委員長(伯爵酒井忠正君) 速記ヲ始メテ……、御質問ガゴザイマスレバ此際願ヒタイト思ヒマス

○子爵片桐貞央君 今度ノ此法案ニ對シマシテ、應急ニ救濟ヲスル意味ニ於テ、飯米シテ出サレル範圍ガ、米作ヲ重要産業トスル市町村ニ限ルテ居ルヤウニ御説明ガアツタノデアリマスガ、非常ニ現今ノ状態ト致シマスト養蠶地ニアツテ、非常ニ窮乏シ業ニ限ラズ養蠶地ニアツテ、非常ニ窮乏シテ居ル所ガアルヤウニ思フノデアリマスガ、ソレ等ノ地域ニ對シテハ是ハ效力ガ及バナイヤウニ此處ニ書イテアルヤウニ見エマスガ、サウ云フ養蠶地帶ナンカニハドウ云フ

御考デゴザイマセウカ、一應伺ッテ置キマス

○國務大臣(山崎達之輔君) 御尤ナ御質問デゴザイマスガ、先程申上ゲマシタヤウニ

備荒貯蓄ト云フ制度ト結付ケタ今回ノ施設ニナツテ居リマスノデ、矢張リ米作ヲ爲ス町

村ト云フ條件ガ伴ツテ參ルコトハ已ムヲ得ヌ譯デアリマス、唯片桐子爵ノ御心配ノ養蠶地方ナドデ、矢張リ困ル所ガ御心配ノ通リニアル譯デアリマス、之ニ對シマシテハ別途ノ方法ニ依ツテ出來得ル限リノ手當ヲ致ス外ハナイノデアリマスル爲ニ、實ハ本年ナドモ夏秋蠶ノアノ不況ノ關係カラ、養蠶

○委員長(伯爵酒井忠正君) 濡米ヘ其直後

ニ於キマシテ、殆ドモウ全部窮乏地方ニ供給濟ミニナツテ居リマス、現ニ岩手縣デアリスガ、此事モ今後ニ於テモ續イテ、更ニ又從來以上ニ手配ヲ講ズルコトガ必要デアル

ト考ヘテ居リマス、即チ現在ノ米穀統制法ノ規定ニ依リマシテ、或場合ニハ貸付ノ方法モゴザイマスシ、特殊ノ地方ニ對シテハ夏ノ養蠶ノ不況以來、拂下ゲ或ハ代金延納ヲ以テ貸下ヲ致シマシタモノハ八十萬石位ニ達シテ居ルノデアリマス

○子爵片桐貞央君 尚ホチヨツト伺ヒタインダル所ガアルヤウニ思フノデアリマスガ、

ス、又政府手持ノ古米ナドハ、御承知ノヤウニ餘程格安ニ供給ガ出來ル譯デアリマスカラ、サウ云フヤウナ格安ノ米ヲ供給スルヤウナ途ヲ講ズル、尙又一方ニ於キマシテ個人ニ渡ルヤウナ手順ニナツテ居リマスガ、

程度ノ事業ヲ行フ計畫ハアル譯デアリマスカラ、兩々相俟チマシテ養蠶地方ニ對スルス

救濟ノ施設ハ講ジテ參リタイ、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス

○子爵片桐貞央君 ソレニ付テ尙ホ伺ヒマスガ、サウ致シマストト他ノ方法ヲ以テ格安ノ米ヲ、政府米デアレバ、ソレ等モ其方法

デ出来レバソレハ宜シウゴザイマスガ、今度ノ關西方面ノ風水害ニ對スル所謂濡米ナシカニ對シテ、ソレ等ガ格安ニサウ云フ地方ニ餘程拂下ゲラレタ地方ガアルノデアリ

マセウカ

○國務大臣(山崎達之輔君) 大體ハ勅令或ハ省令ニ依ツテ規定ヲ致シマスルモノガ、町

村ト町村民トノ關係ニ付キマテシヘ、主トシテ町村條例ニ依ツテ色ミナ點ヲ定メルヤウニ致シタイト思ヒマスガ、是ハ各地方長官ト内務、農林兩省ト能ク聯絡ヲ取リマシテ、適當ナル指導ハ致ス考デアリマスケレドモ、

立前ハ町村條例ニ依ツテ取極メラスル、斯ウ云フヤウナ考デ居リマス、之ヲ個人ニ多量ノモノヲ交付イタシマスレバ、御説ノヤウナ心配モナイ譯デハナイト思ヒマスガ、

是ハ飯米ノ意味ニ於テ致サレルデアラウト思ヒマスガ、場合ニ依ツテハ其個人ノ都合ニ依ツテ、或ハソレ等ノ供給米ヲ賣ルヤウナコトガアリハシナイカト思ヒマスガ、サウ致シマスト此趣旨ニ反スルヤウナコトニナリ、

又他ノ者ガ利益ヲ得ルト云フヤウナコトガアリハシナイカト思ヒマス、ソレ等ノコトガニ付テハ茲ニチヨット參考書類ニ見エマスガ、命令事項ノ中ニ米穀ノ販賣禁止等ニ必要ナル規定ヲ設クルト云フコトガアリマスガ、ソレ等ノ法規上ノ關係ハドウ云フ風ニナルノデアリマスカ

○國務大臣(山崎達之輔君) 大體ハ勅令或ハ省令ニ依ツテ規定ヲ致シマスルモノガ、町村ト町村民トノ關係ニ付キマテシヘ、主トシテ町村條例ニ依ツテ色ミナ點ヲ定メルヤウニ致シタイト思ヒマスガ、是ハ各地方長官ト内務、農林兩省ト能ク聯絡ヲ取リマシテ、適當ナル指導ハ致ス考デアリマスケレドモ、

立前ハ町村條例ニ依ツテ取極メラスル、斯ウ云フヤウナ考デ居リマス、之ヲ個人ニ多量ノモノヲ交付イタシマスレバ、御説ノヤウナ心配モナイ譯デハナイト思ヒマスガ、

町村ニ交付イタシマシテ、町村カラ町村内ノ住民ニ貸付又ハ交付ラスル、斯ウナツテ居ル譯デアリマスカラ、町村ガ販賣ヲスル



監督ノ下ニ、市町村デ大體ドレ位ノ資力トスカラ、凶作ノ年ニハ食べテシマフノハ已ムヲ得ナイノデアリマスガ、普通ノ年ニハ食べ餘タ米ヲ成ルベク早く積立テマシテ、次ニ又災害ガ來タ場合ノ準備ニ致スノガ結構ナノデアリマシテ、ソレニハ三年位デヤッテ見タイト思ツタノデアリマスガ、此交付イタ

シマシテ、豫メ此價額ハドレ位ニナルト云コトヲ、府縣ニハ知ラシメテ置クト云フコトニ致シタイト思ヒマス

○子爵織田信恒君 サウ致シマスト、貸付

又ハ交付ノ認定ハ、地方廳ガ監督ノ下ニヤリマスノデスナ、マア大體ニ於テ市町村ガソレヲ認メルノデスカ、何カソレハ市町村長ガ認メルノデスカ、或ハ何カ委員ノヤウナモノガアツテ認メルノデスカ、ソレハドウ云フ風ニナルノデスカ

○桑山鐵男君 只今御答辯ガアツタ中ニ、此方ノヤウナ非常ナ凶作ガ連續起ツテ來ルト方ノヤウナ所ト、豐穰ノ土地トヘ餘程事情云フヤウナ所ト、豐穰ノ土地トヘ餘程事情

○桑山鐵男君 只今御答辯ガアツタ中ニ、此

は此特別會計ノ損失ニナルトスウ云フコトヲ御考ニナルノハ當然デアリマスケレドモ、矢張リ地方々ニ依ツテ、例ヘバ東北地方ノヤウナ非常ナ凶作ガ連續起ツテ來ルト

○桑山鐵男君 只今御答辯ガアツタ中ニ、此

掛ケテ戴カナイヤウニ願ヒタイト思ヒマス、

是ガ私ノ希望ナリ質問デアリマス、以上デ

質問ヲ終リマス

○子爵織田信恒君 唯私ノ懸念シマシタコトハ、兎角斯ウ云フ場合デハ情實ガ入ツタリ、地方ノ色ミノマア結局情實カラ起ル不

○桑山鐵男君 サウデゴザイマスカ、イヤ、アノ會計法ノ法律關係ニ於キマシテハ御調査ハ濟ンデ居ルノデゴザイマセウカラ、アノ會

計ガ損ヲスルト云フコトニナツテ來ルト云

尋スル必要モ無イノデスケレドモ、アノ會

計ガ損ヲスルト云フコトニナツテ來ルト云

穀ヲ購入イタシマス當時ノ時價ヲ參酌イタ

リマス、ソレカラ第五條ノ道府縣ガ交付ヲ

トハ、兎角斯ウ云フ場合デハ情實ガ入ツタ

リ、地方ノ色ミノマア結局情實カラ起ル不

イマスケレドモ……アノ會計カラ見レバ五  
十萬石位ナモノハ些細ナモノハ可ナリ大  
ケレドモ、アノ會計ト云フモノハ可ナリ大  
キナ損失ヲ負擔シテ居ルノデスカラ、ソレ  
ニマタ損失ガ加ハッテ來ルト云フコトニナ  
ルノカト云フノデ御尋シタ譯ナンデス、ソ  
コデ御尋シタ序ニモウ一ツ三ツ御伺シタイ、  
ト思ヒマスガ、各條ニ「交付」ト云フ文字ガ  
ゴザイマスガ、此交付ト云フ字ハドウ云フ  
ノデスカ、意義ガ違ツテ居ルモノガアルノ  
カ、或ハ同ジヤウニ給與ト云フ意味デゴザ  
イマスカ、ドウ云フ意味デゴザイマスカ  
○政府委員(荷見安君) 無償デ讓渡スルト  
云フ……

○桑山鐵男君 分リマシタ、サウスルト給  
與ト云フヤウナ意味ト、斯ウ解シテ宜シウ  
ゴザイマスナ、其次ニ「五十萬石」トアリマス  
ガ、其五十萬石ト云フ數量ノ出マシタ根據  
デスナ、大體是デ宜イ譯ダト思ヒマスガ、何  
カ戴イタモノニアルノカモ知レマセヌガ、  
マダ拜見シテ居リマセヌカラ一ツ……

○政府委員(荷見安君) 是ハ東北六縣ノ五  
割以上ノ凶作地市町村ノ調ヲ致シテ見タノ  
デアリマス、サウ致シマスト五割以上凶作ノ  
市町村ハ五百七十四町村ゴザイマス、ソレ  
デ又東北六縣ノ地方廳ノ人ニ來テ貰ヒマシ

テ、其中第一條ノヤウナ條件、詰リ五割以

上ノ減收デアリマスガ、其他冬季ニ於ケル  
應急土木事業ノ施行困難ナルモノヲ調べテ  
貰ッタノデアリマス、サウ致シマスト、其市  
町村ガ五百四十九ゴザイマス、ソレデ其救  
濟ヲ要スル人口ハドレ位デアルカト云フコ  
トモ調べマシタ結果、約七十五萬人ゴザイ  
マス、此人ニ此冬季ノ間四箇月間ノ食糧、  
詰リ一箇月一人一斗ト見マシテ四斗ダケ交  
付スルコト……交付又ハ貸付スルコトト致  
シマスト三十萬石ニナル譯デゴザイマス、  
ソレデ東北六縣ニ對シマスル數量ハ約三十  
萬石ト云フコトニ考ヘタノデアリマスガ、  
其他北海道、新潟、石川、富山等ノ同ジャ  
ウナ地方ノ分ガドレ位アリマスカ、一部分  
ハ分ツタ所モゴザイマスガ、マダ判明セヌ點  
モゴザイマスノデ、分ツタ部分ハ極ク少量デ  
アリマスガ、是等ノ地方ニ對シテ約十萬石  
位宛ガフナラバ相當ナモノデアラウ、斯ウ  
考ヘマシテ、サウシテ全體デ四十萬石、其  
外ニ東北六縣竝ニ此第一條ノ條件ニ合スル  
ヤウナ地方デ、マア伸ビ縮ミガアリマシテ  
モ、大事ヲ執リマシテ十萬石アト餘裕ガア  
レバ宜シカラウト云フノデ、最高限ヲ五十  
萬石ト押ヘマシタ譯デゴザイマス

○桑山鐵男君 次ニ第一條ノ第二項デゴザ  
イマス、「當該市町村ハ其ノ住民ニ其ノ米  
穀ヲ貸付又ハ交付スルコトヲ要ス」ト斯ウ  
先程ノ御説明ヲ伺ヒマシテモ貸付ガ多イラ  
シイノデスナ、サウスルト其貸付ケタ場合  
ハ無論返還ヲサセルノデゴザイマセウガ、  
其米ハ何處へ入レルノデゴザイマスカ

○政府委員(荷見安君) 其米ハ、此市町村

ガ返シテ貰ッテ、市町村ノ所有トシテ備荒貯

蓄ノ爲ニ積立テルト云フノデアリマス、  
○桑山鐵男君 其中ヘ入ル譯デゴザイマス  
カ……、ソレカラ第二ニ、御説明モアリマ  
シタケレドモドウモハッキリ致シ兼ル點ガ  
アルノデゴザイマスガ、ソレハ今度此米ヲ  
交付スルト云フコトト、備荒貯蓄義務ヲ課ス  
ルト云フコトト、ドウモ關係ガ私十分了解  
出来ナイノデアリマス、其處ヲ何カモウ少  
シ分リ易ク御話ヲ戴ケマセヌカ

○政府委員(荷見安君) 是ハ政府所有米ヘ、  
御承知ノ通リ米穀ノ數量又ハ價格ノ調節ノ

爲ニ買入レマシタノヲ持ツテ居リマス、ソレ  
ガ又數量ガ不足シタ時ニハ賣出ス、又餘

ル場合ニハ買入レルト云フコトニナツテ調

節イタシテ參ルノデアリマスガ、今度ノ米

ノ拂出シハ非常ニ凶作ノ爲ニ米ガ不足シテ

居リマス地方ニ、特別會計ガ持ツテ居リマ

ス米ヲ無償デ交付イタシシテ、其ノ地方ノ

農民ヲ救濟スル譯ニナリマスガ、ソレヲヤリ放

シニシテシマウト云フコトハ、ドウモ調節

ノ爲ニ持ツテ居リマス米ヲ使フコトトシテ

ハ筋ガ立タヌヤウニ考ヘマスノデ、大體此

ハヤルノデアル、將來平年作以上ノ場合ニ

ハソレニ該當スル米ハ市町村ガ積立テ置

キマシテ、政府ノ監督ノ下ニ其出シ入レヲ

行ツテ行クト云フコトニ致シマスト、此調節

ノ爲ニ持ツテ居リマシタ米ヲ市町村ニ與ヘ

マシテ、今度ノヤウナ救濟ノ目的ヲ達スル、

其代リニ市町村デハ米ガ餘リマス場合ニハ、

マシテ、政府ノ監督ノ下ニ其出シ入レヲ

テ置キマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 如何デゴザイ  
マスカ、モウ正午ニナリマスガ、此際休憩  
ヲ致シテ一時半カラ質問ヲ續行イタシテハ  
如何デスカ

「異議ナシ」ト呼フ者アリ

○委員長(伯爵酒井忠正君) 御異議ナケレ  
バ是デ休憩イタシマス、一時半ヨリ開會イ  
タシマス

全蜀王記

○委員長(伯爵酒井忠正君) ソレデハ午前

ニ引續イテ是ヨリ開會イタシマス、農林大臣ハ只今衆議院ノ豫算總會ノ方に出席イタサレテ居リマシテ、直グニ此方ニ參ルサウデアリマス、其間政府委員ガ出席サレテ居リマスカラ、政府委員ニ御質問ガアリマスレバ、此際御願イタシタイト思ヒマス

○子爵片桐真央君 私ハ農林大臣ニ尙ホ先  
程質問イタシマシタコトニ關聯イタシマシ  
テ、質問イタシタイト思ヒマシタガ御見エ  
ニナリマセヌカラ、御見エニナリマシタラ  
御許シヲ願ヒタイト思ヒマス、尙ホ今日内  
務省ノ政府委員ノ御方ガオイデニナリマス  
カラ……大臣ガ御見エニナリマシタラ伺ヒ

回計畫イタシテ居ル郷倉ト云フコトト密接ナル關係ヲ有ツテ來ルト存ズルノデアリマス、即チ其町村ノ備荒ト致シマシテ貯蓄いたシマスル米穀ハ、此設ケラレマスル所ノ郷倉及ビ從來存シテ居リマスル所ノ郷倉人、基本ト米穀トナルモノト存ズルノデアリマス、固ヨリ今回交付ニナリマスル米穀ダケデ、此郷倉ノ働キヲ致スニハ十分デナイト存ズルノデアリマス、之ヲ元ト致シマシテ住民相扶リ相助クルノ精神カラ之ニ更ニ積立テヲ致シテ參ラナケレバ、本當ノ働キハ致サヌト思フノデアリマス、此基本ト致シマシテ是ダケノモノガアリマスト云フコトハ、此郷倉ノ働く完全ニ致シマス爲ニ非常ナ力強イ基本トナルコト考ヘルノデアリマス、從テ此町村ノ積立テマスル米ス、尤モ今回ノ交付米ハ五割ト申シマスカ、其町村ノ平年作ノ半バ、半作以下ノ所デナケレバ交付ニナリマセヌカラ、郷倉ガ左様ナ資格ヲ持ツテ居ナイ所ニ建ツタ場合ニキマシテハ別途考究スル必要ガアラウト考ヘテ居ルヤウナ次第デアリマス

付ハ一種ノ救濟策、即チ社會政策デアリマス、社會政策ノ事業ヲ獨立シテヤッテ行カナケレバナラヌ所ノ米穀統制法ノ米ヲ以テヤルト云フノハ、只今ノヤウニ一千二三百萬石ノ貯藏ノアル時ニヘ運用ニハ困難デアリマスマイケレドモ、此貴キ米穀統制法ノ基礎ヲ私ハ弱クスルモノデナイカ、斯ウ云フ救護法ハ、斯ウ云フ權威アル特別ノ法案ニ賴ラズシテ、別ニ獨立シタル財源ヲ以テ救濟スベキガ本當デハナイカ、サウシマスルト農林省ノ事業デナクシテ是ハ當然内務省デシナケレバナラヌコトト思フノデアリマス、ソレガ一ツ、其不安ガアリマスル爲ニ此米ノ貸付ニ對シマシテハ、餘程正鶴ヲ得マシテ、サウシテ其回収ガ又適切ニ行ハレルヤウニナラナケレバナラヌ、殊ニ五十萬石ト云フ此救護米ニ對シマシテハ、其救護法、貸付法ガ適切デアリマセヌト、適切ナル救護ハ出來ナイデヤナカラウカ、今年ノ不作ヲ見マスルト約三百九十萬、六縣ニ於ケル平年ノ移出高ガ三百八十萬石、今年八十萬石不足イタシテ居ルノデアリマス、サウシテ今日ノ時事新報ヲ見マスルト、農林省ガ十一月中ニ買上ゲマシタ米ハ、福島県ヲ除キマシテ、五縣デ十萬餘石既ニ買ツテ居ル、サウスルト二十萬石ノ不足ニナル、

斯ウ云フ風デマグ此東北六縣ニ對スル買上  
米ノ量ハ、マダ是カラ十萬ヤ二十萬上ボリ  
ヤシナイカ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマ  
ス、サウシマスルト三十萬石デハ餘程少ク  
ナル、若シ東北ノ人デ今米ヲ賣ッテ、サウシ  
テ後米ガナイト云フ者ニ對シテモ、貸付ケ  
ルト云フヤウナコトヲ爲サルト云フト、此  
三十萬石デハ足ラヌノミナラズ、救護ヲ徹  
底セシムルコトガ出來ナイ、又米穀法ノ基  
礎ヲ危クスル、斯ウ云フ感ジヲ持ツノデア  
リマシテ、ドウ云フ方法ヲ以テ交付ヲ受ケ  
タル所ノ村ハ、各人ニ貸付ケルヤウニ爲サ  
シムル政府ノ方針デアルカ、ソレガ第二ノ  
質問デアリマス、此饑饉年ハ、能ク土地ガ  
併合サレマス、併合ノ原因ハ、生活難ト土  
地ノ復舊難、負債難、此三ツノ中デ、生活  
難、土地ノ復舊ニ付テハ、政府ハ相當ニ案  
ヲ極メテシテゴザルヤウデゴザイマスケレ  
ドモ、併合ノ主ナル原因ヲ爲スモノハ負  
債ノ苦シミデアル、其負債ノ苦シミニ對  
シテハ、土地併合ヲ豫防スル爲ニ、ドウ云  
フ方法ヲ政府ハ此際執ラムトセラレルノデ  
アルカ、ソレガ第三ノ質問デアリマス、  
旱魃時ニ饑饉ナシト申シマスルケレドモ、  
今年ハ實際饑饉デアル、饑饉ノ年ニ限ツテ米  
ガ悪イノデアリマス、是ハ東北地方ニ限ラ

ズ、全國ニ不良米ガ澤山アル、豫テノヤウニ非常ニ嚴密ニ、嚴シク、商人ノ販賣ヨリモ一等上ノ、例ヘバ三等米位ノ米ヲ、農林省ノ検査ノ時ニハ四等ニナシテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウナ嚴格ナル方法デ、サウシテ買上ダフ爲サレルト云フト、非常ニ此不良米ヲ多ク持ツテ居ル農民ハ今年ハ困ラウトスウ思フノデアリマスガ、啻ニ東北六縣ノミナラズ、全農民ノ米ノ買上ゲニ付テハ、依然從來ノヤウナ方法ヲ執ラレルノデアルカ、ソレガ第五デアリマス、第六トシマシテハ、此度ノ東北地方ノ不作ニ付キマシテハ、氣溫ヨリモ寧ロ灌漑水ノ冷エテ居ルト云フノガ原因シテ居ル、冷メタイ水ヲ田ニ掛ケタ爲ニ、不作ラシテ居ルト云フコトヲ、東北ノ人ハ殆ド言ツテ居ルヤウデアリマス、私ハ行ツテ見マセヌケレドモ東北ノ人ノ話ヲ聞キマシテ之ヲ信ズルノデアリマス、氣溫ハ不可抗力デアリマシテ、サウシテ是ヘ致方ゴザイマセヌケレドモ、灌漑用水ヲ温メテサウシテ掛ケルト云フ事コソ、斯ウ云フ凶行地ニ於キマシテハ農林省ハ不斷考ヘテヤラスペキモノデアル、然ルニ今日尙ホ冷水ヲ掛ケタ爲ニ斯ウ云フ不作ヲヤラシタト云フノハドウ云フ譯デアリマスカ、此六ツノ點ニ付テ御尋ヲ致シマス

○政府委員(荷見安君) 私デ御答ノ出來ル  
事ダケ私カラ申上ダテ置キマス、特別會計  
ニ屬スル米穀ヲ以テ斯カル施設ヲナシマ  
スコトガ、特別會計ヲ弱クスルコトニナ  
リヤセヌカト云フ御尋デアリマス、是ハ  
成程所屬ノ米ガ減少スル譯デアリマスカ  
ラ、見方ニ依ツテハ特別ノ資産ガ減ツテ  
來ルコトニナルト考ヘマスコトハ午前  
中ニ申上ガタ通リデゴザイマスガ、一  
面カラ見マスト云フト、此米穀ノ交付ニ  
依ツテ政府ガ調節スル代リニ、民間ノ備荒  
貯蓄ノ作用ニ依リマシテ、年ノ豐凶ニ因リ  
米ノ蓄積ヲ拂出スト云フコトニ依リマシ  
テ、數量ノ調節ガ出來ルノデアリマスカラ、  
間接ニハ米價ノ方ノ調節ニモ相當效果ノア  
ルコトト思ヒマスカラ、茲ニ出シマシタ分  
ガ全部調節ニ效力ヲ失フト云フコトニヘナ  
ラナイカト考ヘマス、ソレカラ新聞紙ニ東  
北ノ方カラタント米ヲ買ヒマシタヤウナ、  
何カ掲載ガアツタ云フコトデゴザイマス  
ガ、ソレハ昨日決定發表ニナリマシタ今年  
ノ七十萬石ノ買換ノ爲ニ買入ノ米ト考ヘマ  
スガ、是ハ全國デ十八萬石バカリゴザイマ  
シタケレドモ、東北ノ方ノ仙臺ガ七千石バ  
カリ、青森ガ三百石バカリゴザイマシテ、  
酒田ガ山形秋田ト兩縣ニカカリマスノデ、

約八萬石バカリノ買入ニナリマシタ譯デゴ  
ザイマス、非常ナ多量ニハナリマセヌノデ  
ゴザイマス、尙ホ便宜上、第二回收穫豫想

高ニ移リマスト、昭和九年產米ノ生產額ト  
云フモノヲ、從來ノ平年ノ時ニ於キマスル  
生產額ニ比ベマスト、產額ニ於テハ成程三  
百數十萬石ノ減ニナッテ居リマスガ、其產額

ノ中ニハ管外移出米モ相當多量ニ含マレテ  
居ルノデゴザイマシテ、消費額ハ平年ノ時  
ナラバ六百五十萬石カラ六十萬石位、東北  
六縣ニ消費サレルノデゴザイマス、昭和八  
年產米ガ非常ナ豐作デゴザイマシタ關係  
上、此前年度ニ比ベマシテ、本年十一月一  
日現在ノ持越米ノ總數ハ九十六萬石ダケ餘  
計ニナッテ居ルヤウナ關係デゴザイマスカ  
ト云フト、消費額ヨリハ餘分ニナルノデゴ  
ザイマス、其他ノ今年ノヤウナ因作ノ年ニ  
ハ雜穀ナド食料トシテ使用シマス色ミナ關  
係デ食ヒ残シモアリマセウカラ、米ノ關係  
デハ移出米ノ數量ヲ減ジマスレバ大シタ、  
消費量ニ對スル數量ニ於キマシテハ大シタ  
コトナク行クノヂヤナイカ、斯様ニ考ヘテ  
居リマス、ソレカラ之ヲ配給スル方法ヲ餘  
程氣ヲ付ケマセヌト、旨ク行届カヌコトガ  
アツヘナラヌト云フ御趣旨ノヤウナコト

ニ考ヘマシタ、之ニ付キマシテハ能ク地方  
廳茲市町村等トモ十分ノ聯絡ヲ取リマシテ、  
法規ノ運用シ得ル範圍内ニ於テハ最モ公平  
ニシタイト考ヘテ居リマス、ソレカラ因作

ノ年ニハ米ガ出來ガ惡イノデアルガ、ソレ  
ヲドウ云フ風ニ取扱フノデアルカト云フ御  
趣旨ノ質問ノヤウニ考ヘマシタガ、御話ノ  
ヤウニ、今年ノヤウニ全國ニ瓦リマスル因  
作ノ年ニハ、非常ニ米ノ品質ノ不良ナルモノ  
ガ生産サレル歩合ガ多クナリマスカラ、ソ  
レデ之ニ應ジマス爲ニ道府縣ノ米穀検査規  
則ノ中ニハ、因作ノ場合ニ於キマシテハ是  
マデ不合格ニナリマス分ニ付テモ豫備等級  
ト云フモノヲ作りマシテ、合格米ノ中ニ入  
レルヤウニ取扱フコトガ出來ルト云フ規定  
ガ設ケテゴザイマス、之ニ依リマシテ各府  
縣トモ本年ノ米ノ検査ニ對シマシテハ、豫  
備等級ヲ設ケテ取扱フコトニナリマシテ、  
ト云フト、消費額ヨリハ餘分ニナルノデゴ  
ザイマス、其他ノ今年ノヤウナ因作ノ年ニ  
ハ雜穀ナド食料トシテ使用シマス色ミナ關  
係デ食ヒ残シモアリマセウカラ、米ノ關係  
デハ移出米ノ數量ヲ減ジマスレバ大シタ、  
消費量ニ對スル數量ニ於キマシテハ大シタ  
コトナク行クノヂヤナイカ、斯様ニ考ヘテ  
居リマス、ソレカラ之ヲ配給スル方法ヲ餘  
程氣ヲ付ケマセヌト、旨ク行届カヌコトガ  
アツヘナラヌト云フ御趣旨ノヤウナコト

委員會ガ農林省ニ設ケテアリマスノデ、ソ  
ニ掛ケマシテ決定ヲ致シタイト思ツテ居  
リマス、今ドウ云フ風ニナリマスカ、ソレ  
ヲドウ云フ風ニ取扱フノデアルカト云フ御  
趣旨ノ質問ノヤウニ考ヘマシタガ、御話ノ  
ヤウニ、今年ノヤウニ全國ニ瓦リマスル因  
作ノ年ニハ、非常ニ米ノ品質ノ不良ナルモノ  
ガ生産サレル歩合ガ多クナリマスカラ、ソ  
レデ之ニ應ジマス爲ニ道府縣ノ米穀検査規  
則ノ中ニハ、因作ノ場合ニ於キマシテハ是  
マデ不合格ニナリマス分ニ付テモ豫備等級  
ト云フモノヲ作りマシテ、合格米ノ中ニ入  
レルヤウニ取扱フコトガ出來ルト云フ規定  
ガ設ケテゴザイマス、之ニ依リマシテ各府  
縣トモ本年ノ米ノ検査ニ對シマシテハ、豫  
備等級ヲ設ケテ取扱フコトニナリマシテ、  
ト云フト、消費額ヨリハ餘分ニナルノデゴ  
ザイマス、其他ノ今年ノヤウナ因作ノ年ニ  
ハ雜穀ナド食料トシテ使用シマス色ミナ關  
係デ食ヒ残シモアリマセウカラ、米ノ關係  
デハ移出米ノ數量ヲ減ジマスレバ大シタ、  
消費量ニ對スル數量ニ於キマシテハ大シタ  
コトナク行クノヂヤナイカ、斯様ニ考ヘテ  
居リマス、ソレカラ之ヲ配給スル方法ヲ餘  
程氣ヲ付ケマセヌト、旨ク行届カヌコトガ  
アツヘナラヌト云フ御趣旨ノヤウナコト

レバナラヌト云フヤウナ狀態カラ農民ガ救  
ハレルノデヘナイカ、斯ウ云フ風ニ考ヘテ  
居リマス、ソレカラ氣温ノ低イ水ヲ掛ケテ  
ハイケナイグラウト云フ問題ハ、是ハ耕地  
整理或ハ開墾等ニ依リマシテ、用水ヲ溜池  
等ニ依リマシテ貯藏シテ、ソレヲ溫メテ掛  
ケルコトニナラウト思ヒマス、私ノ取扱ツ  
テ居リマスコトデハゴザイマセヌガ、大體  
カッタト云フコトハ後廻シゴザイマスカ  
ソレカラ冷水ニ對シテノ是マデノ研究ガナ  
○政府委員(荷見安君) 土地併合ト申シマ  
スト、結局從來ノ小サナ自作農ガ、困窮ノ  
爲ニ土地ヲ放スト云フコトニナルコトト思  
ヒマスガ、是等ニ對シマシテハ、今年ハ非  
常ニ困リマスル分ニ對シマシテハ、此法律  
ニ依リマシテ自作農ノ力ノ弱イモノニ對シ  
テモ、貸付ノ方法モ出來ルト考ヘマス、尙  
本肥料資金ノ融通ハ、預金部ノ委員會ノ決  
定ヲ經テ爲スコトニナッテ居リマス、自分ノ  
生産イタシマシタ米ヲ賣控ヘルコトニ付キ  
マシテハ、賣控ヘノ低利資金モ融通セラレ  
ルコトニナッテ、是ハ三千萬圓ヲ範圍内ト  
シテ決定サレテ居リマス、資金ノ關係ハ、  
米ノ關係ニ付テハサウ云フ風ニ肥料資金、  
米作資金ノヤウナモノガ預金部カラ出マス  
外ニ、各種ノ救濟的ノ土木事業ノヤウナモ  
ノヲ起シ、或ハ事業ノ獎勵ナドヲ實行シテ  
參ルト云フコトニナリマスルト、餘程救濟  
セラレマスルカラ、幾分土地ヲ手放サナケ

救助ノ決定ヲシマスレバ、是ガ直グ取掛カツテ御決メニナラネバナラヌコトト思フノデアリマス、併シ今决メテナイモノヲ何故決メナカツタカ、ソレガ爲ニ法案ガドウスウト言ツタ所ガ、窮民ヲ困ラセルバカリデアリマスカラサウ申上ゲル譯ニハ行キマセヌガ、之ニ付テハ農林省ハ殊ニ注意ヲ御拂ヒニナリマシテ、サウシテ濫貸付、回収不能ノ成ルベクナイヤウニ、所謂救護ノ目的ヲ達セラレテ、憤民ヲ御拵ヒニナラヌヤウニナサルコトヲ此際御願イタシテ置クノデアリマス、ソレカラ五十萬石ニ付キマシテノ御説明ガ要領ヲ得タヤウナ得ナイヤウナ、私ガ申シマシタノハ既ニ十萬石ハ東北ハ今日賣ヅテ居ル、併シ政府委員ノ説明ヲ聽キマスト、酒田デ八萬石、仙臺デ七萬石、青森デ幾ラ、斯ウナリマスト、私共ガ十萬石賣ッタト申シマスケレドモ、十五萬石以上ニナル、第一回デ十五萬石以上モ賣ルヤウデゴザイマスト、元來十萬石輸出量ヨリモ今年ハ少ク獲テ云フヤウニ賣リマスルナラバ、三十萬石ナシカ、申ス迄モナク實際ノ貧民ノ困窮ハデハ餘程宜イ方法デヤラレヌト、眞ノ貧民ヲ救護スルコトハ出來ナイヤウニナリハシ

目下デナクシテ、來年ノ四五月後ニ參ルノ  
デアリマス、其時分ニ足リナイト云フコト  
ニナリマスルト云フト、又此三十萬石カラ殖  
ヤサナケレバナラナイヤウニナリヤシナイ  
カ、從ヒマシテ此貸付ト云フコトニ付キマ  
シテハ、餘程念ヲ入レマシテ、サウシテ御  
貸シ下サルヤウニ希望イタシマス、現在農  
村デ此肥料ヲ個人ニ貸付ケマスノニ農事實  
行組合會ニ貸付アテアレ、組合ニ貸付アテ

デアリマス、土地併合ノ豫防ニ付キマシテ  
ハ先刻モ簡単ニ申シマシタヤウニ生活難、  
土地回復ト云フコトニ付テハ其方法ヲ講ジ  
テ居ラルルガ、一番併合ノ原因ヲナスモノ  
ハ負債デアル、借金デアル、其借金ノ緩和  
ニ付テハ如何ナル方法ヲ執ラレテ居ルカ、  
今ノヤウニ肥料代、其他ノ薬代トカサウ云  
フヤウナコトヲ申上ゲテ居リマセヌ、日本全

マシテ私ハ御願スル、希望ヲ申上ゲルヤウ  
デアリマスケレドモ、何時モ御上ノモノハ  
手遅レデアリマス、斯ウ云フ風デハ非常ナ  
災難ガ來ルト云フコトガ分ツテ居リマシテ  
モ、災難ガ來ナケレバシナイ、私ハ佐賀縣  
デアリマスガ、佐賀縣ノ有明海ハ特殊ノ海  
デ、干満ノ差ガ非常ニ甚ダシイ、ソレデ先  
ニ高潮ガ來テ居リマス、歴史ヲ見マシテモ

ル、ソレデ始終アノ堤防ヲ高クナスコトヲ  
縣竝ニ國ニ御願シテ居リマスルケレドモ、  
高潮ガ來マシテ田地ガ荒廢シナケレバ其堤  
防ヲ良クナシテ吳レヌト云フヤウナノハ、  
現ニ私……、單ニ今度ノ東北竝ニ佐賀縣ニ  
限ラズ、全國ノコトニ付テサウデアルヤウ  
ニ感ズルノデアリマス、從ヒマシテ斯ウ云  
フ饑饉ニ遭ヒマシタノヲ好イ手本トシマシ  
テ、今後左様ノコトノナイヤウニ御願イタ  
シテ置クノデアリマス

○松村眞一郎君　只今モ米ノ、米穀特別會計法ノ基礎ヲ危クスルコトガアリハシナイカト云フ一つノ御質問ガアリ、尙ホ農民ノ借金ノ緩和ハドウスルカト云フヤウナ御話ガアッタノデアリマスルガ、私ハソレニ關聯シテ、此特別會計法ト云フモノニ付テ餘程御考ヲ願ハナケレバナラヌト思フノデアリ

ウ云フヤウナ工合ナ御心積リデ居ラレルカ  
ト云フコトヲ質問イタシタイト思フノデア  
リマス、ソレヘ今朝農林大臣ガ此特別會  
計法カラ此度ノ五十萬石ト云フモノヲ提  
供スルコトニ付テ、米ノ調節關係ニ是ガ  
或效果ヲ有ツモノデアル、午前ニ其點ニ付  
テ桑山委員カラモ御質問ガ左様アツクノ  
デアリマス、尙ホ米穀局長モ只今矢張リ其  
意味ノ御答ガアツクノデアリマス、併ナガラ  
ドウモ餘程其御見解ニ付テハ、強キ確信ヲ  
以ツテ仰シヤッテ居ルカドウカト云フコトヲ  
實ハ私ヘ疑フノデアリマス、米穀特別會計  
法ソレ自身ノ目的トシテ居ル所ハ、第一條  
ニ書イテアリマス如ク、米ノ數量又ハ市價ノ  
調節ノ爲ニスル買入レ、賣渡シト云フヤウ  
ナコトヲ主トシテ居ルノデアリマス、サウ  
シテソレヲ只デヤルト云フコトハ、米穀法  
ソレ自身ハ認メテ居ナイモノデアリ、特別  
會計法モ亦之ヲ認メテ居ナイノデアリマス、  
ソコデ是ガ最近ノ立法トシテハ、政府ガ米  
ヲ餘程澤山所有サレルヤウニナツタ結果ト  
シテ、何トカ米ノ新規利用ヲ考ヘナケレバナ  
ラヌト云フ意味ニ於テ、政府ノ所有米ノ特別  
處理法ト云フモノヲ出サレテ、サウシテソレ

取扱ハセルト云フ特別法ヲ御出シニナッテ居ル、是モ矢張リ例外ノ立法デアツテ、元來ハ特別會計法デハ出來ナイノデアリマスガソレヲナスシテ居ル、所ガ元來此米ノ利用ヲ試驗研究スルト云フコトハ、政府所有米ノミノ問題デナイノデアリマシテ、廣ク米ノデアリマスカラ、特別會計法以上ニモウ少シ利用ト云フコトニ付テ關係ヲ有ツテ居ルノ廣イ見地カラ眺メルベキ支出デアリ、米ノ處分デナイカト私ハ思フノデアリマス、又今回ノ問題モ齊シクサウデアリマシテ、無償デ交付サレルト云フコトヘ、特別會計法デハ許サナイ、許サナイカラ茲ニ特別法ヲ出シテ、其特別會計法ニ關係ヲ持タシテ、米ヲ茲ニ無償デ交付シヨウト云フコトノ特別法ヲ、茲ニ法案ヲ御出シニナッテ居ル、ソレデ需給調節特別法トノ關係ハ結付イテ居リマスルケレドモ、矢張リ當初特別會計法ノ考ヘテ居タコトデアツテ、サウ云フヤウナモノヲ唯ク附ケテ、サウシテ其方カラ處理サセヨウト云フコトニ過ギナイ、ソレヲ何トカシテ米穀ノ調節ト云フ問題ト絡ミ付ケヨウト云フ意味ニ於テノ御説明ヲ餘程御努力ニナッテ居ルヤウナノデ、大變ニ其點ガ徹底シテ米ナインヂヤナイカト私ハ思フノデアリマス、併ナガラ元來此米穀政策ト云フコトヲ廣ク

眺メマシテ、其方ノ見地カラ寧ロ眺メルノ  
ガ宜ノデアツテ、現行ノ特別會計法ト云フ  
狭イ見地カラ色ニナ問題ヲ眺メルガ故ニ、色  
色御無理ヲ考ヘテ居ラレルノデヤナイカト  
思ハレルヤウナ言葉ヲ私ハ拜聽スルノデアリ  
マス、併シ政府ハ米穀政策ノ調査會ヲ別ニ  
設ケテ居ラレテ、ソコデ何ヲ研究サレテ居ル  
カト申シマスト云フト、米ノ買入レ賣渡シ  
ト云フコトノ外ニ、糧ノ貯藏ト云フヤウナコ  
トニ付テモ御研究ニナツテ居ル、從來ト雖モ廣  
キ意味ノ米穀政策トシテハ糧ノ貯藏ヲ矢張リ  
獎勵シテ居ラレル、ソレハ米穀法ノ外ニアル、  
ズル時ニ當リマスケレドモノ元來米穀政策トシテ論  
モノモ超越シ、今ノ糧ノ貯藏ノコトモ考ヘ、  
今度ノ鄉倉ト云フモノヲモ、ソレヲモ矢張  
リ考ヘテ居ラレルヤウニ思フノデアリマ  
ス、ソレデアリマスカラ其場合ニ於テハ現  
行法ノ、米穀統制法ノ方ニ立脚シナイデ、  
ソレヨリモ大キイ方ノ一般的米穀政策ト云  
フコトニ立脚シテ、更ニ各國ノ法制ヲ眺メ  
テ行クト云フ態度ニセラレテ行クト云フ必  
要ガアルノデナイカト思フ、鄉倉ニ付テ今  
社會局長官カラ御説明ガアリマシタガ、其  
御趣旨ハ矢張リ平常ノ經營法トシテハ、昔  
デ申シマスル社倉、社倉ト云フヤウナ思想

ニ出發シテ居ルノデナイカト思フ、平生ハ矢張リ米ヲ貸スト云フヤウナコトニシテ、場合ニ依ツテヘ利息米ニ取ツテ、其利息米デ經營シテ行カウト云フヤウナ意味ガ入ッテ居ルト思フ、所ガ元來此凶作ノ爲ニ備ヘマスル精神カラ申シスマト云フト、是ハ日本ノ昔カラ大寶令時代カラノ既ニサウ云フコトハ考ヘラレテ居ル、義倉ト云フコトガアル、ソレハ凶作ニ充テルガ爲ニ出來テ居ルノデアル、政府ガ現在ヤツテ居ラレル米穀統制法ノヤリ方ハ、是ハ常平倉ト云フコトノ思想デ來テ居ル、米ノ値段ヲ餘リニ高クシナイヤウニ、餘リニ暴落シナイヤウニト云フコトデ其調節ナシデアリマスカラ、昔カラ三倉ト稱シテ常平倉、義倉、社倉ト云フコトノ三ツノ思想ヘ別々ノモノデアル、所謂鄉倉ナルモノハ唯元八年貢米ヲ入レテ居ルト云フ意味デ、土地ガ鄉ニアルカラト云フノデ鄉倉ト申シテ居ルノデアル、其作用トシテハ義倉ノ作用ヲシ、社倉ノ作用ヲシテ居ルト云フコトニナルノデアラウト思フ、サウシテ色ミナ古來ノ沿革、是ハ固ヨリ支那ニモ盛シニ行ヘレ、或ハ興亡ノ跡ヲ留メテ居ルノデアリマスルガ、唐トカ宋トカ云フヤウナ例カラ見テモ始終浮沈ヲシテ居ル、併ナガラ常平倉ノ方ノ思想ヘ大體一貫シテ居ルノデアリマ

シテ、此今米穀統制法デ行ハレテ居ルコト  
ヲヤツテ居ル、併ナガラ國ノ廣イ地域ニ瓦ツ  
テ行ヒマス常平倉ノ勵キトシテ、保管シテ  
居ル所ノ米ヲ社倉拿ナリニ交付シテ、ソレヲ  
社倉經營ノ基礎ニスルト云フコトハ、矢張  
リ歴史上アルコトデアリマスカラ、サウ云  
フヤウナ事例ヲ參酌シテ考ヘルト云フト、  
今度ノ施設ハ矢張リソレニ當ルノヂヤナイ  
カト私ハ思フ、ソレハ大變宜シイコトデア  
リマスルカラ、ヤリ方トシテハ一向差支ナ  
イノデアリマスルガ、ソレハ元來米穀需給  
特別會計法ノ中カラヤルベキモノデナイノデ  
アツテ、先程御質問ノ中ニアリマシタ如ク、  
是ハ別ニヤルベキ筈ノモノデアル、併ナ  
ガラ廣ク米穀政策ト云フ方カラ眺メマスレ  
バ、今日其爲ニ又別ノ特別會計法ヲ出ス譯  
ニハ行カナイノデアリマセウカラ、其意味  
ニ於テ現ニアル特別會計法ニ斯ウ云フモノ  
ヲクツ附ケテ、實ハ無理ニクツ附ケテ居ルノ  
デアリマス、現在ノ特別會計法デハ出來ナ  
イノデソレヲクツ附ケテ居ル、是ガ特別立法  
ヲ要スル所以デアリマスガ、サウシテ居ツテ  
特別會計法ノ方ハ非常ニ今度含メテ參ッタ、  
米穀統制法ト云フモノハ買入賣渡貿換ノ場  
合ニ貸付ヲスルト云フヤウナコトニ限ラレ  
テ居ル、其外穀物ノ輸入關稅ト云フヤウナ

コトハアリマス、輸入許可ト云フヤウナ制度ハアル、輸出入ニ付テサウ云フコトハ行ハレテ居ルノデアリマス、併シソレヲ受ケタ所ノ米穀特別會計法デアリマスケレドモ、米穀特別會計法ノ方ハ、舊米穀法時代ノ時ニ出来テ居ル、米穀法ヲ廢止シテ米穀統制法ガ出來タ場合ニモ、特別會計法ノ第一條ニハ一向改正ガナイ、金額ヲ増加シテ八億五千萬圓ト云フコトニサレテ居ル、米穀政策ノ根本法ニ付テハ色ニ改正ハアルケレドモ、特別會計法ハ其儘ニシテ居ルト云フヤウナ狀態デアル、サウシテ特別處理法ト云フモノガアレバはハ米穀法ノ外ニ設ケテ置ク、今度ノ場合モ亦外ニ設ケテ置ク、齊シク米穀政策デアルケレドモソレハ別々ニ設ケテ置イテ、改正ノ場合ニハ改正ノ方ニクッ付ケテ行クト云フヤウナ意味ノ立法法制ニナシテ居ルノデアリマスルカラ、私ハドウモ此特別會計法ト云フモノニ付テ餘程御考ヲ願ヘナケレバイカナイノデヤナイカト思フ、現在政府ノ所有米トシテハ十月三十日現在デ千六十萬石以上モ持ツテ居ラルノデアリマスカラ、千六十萬石以上ノ中カラ五十萬石出スト云フコトニナレバ、マダ千萬石残シテ居ル、是ハ十月三十日ノ現在デアリマスガ、チヨット見ルト云

フト僅カデアリマセウ、併シ先程ノ一方ニ  
於テ御覽ニナシテ居ル見方デヘ、基礎ヲ矢張  
リ脅カス問題トシテモ考慮シナケレバナラ  
ヌト云フ御話デアルノデアリマス、私ハ相  
當ニ是ハ大キナ金額ト見テ宜イノデヤナイン  
ト思フノデアリマス、只今ノ社會局長官ノ  
御説明ニ依リマスト云フト、政府トシテハ百八  
十三萬圓ヲ國費トシテ鄉倉ノ爲ニ出ス、今度  
ノ議會ニ於テ要求サレテ居ルノハ其一部ナ  
ンデアリマセウガ、八十六萬五千四百圓ト  
云フ金額ニナシテ居ル、其金額ト今度無償デ  
配付シマス金額ト比ベルト、今度ノ金額ハ  
大變大キナモノデアリマシテ、二十五圓ニ  
見積ッテモ千二百五十萬圓ト云フ金ナンデ  
ス、此千二百五十萬圓ト云フ金ヲ、只デ鄉  
倉ノ基本米トシテ交付サレル、ソレハ基本  
ニ過ギナインデアツテ、ソレニ對シテ市町村  
デハ尙ホ積ミ加ヘテ、サウシテモウ少シ數  
量ヲ殖ヤスノデアル、ドノ位殖ヤサレルコ  
トヲ目標トシテ居ラレルカ、今ノ社會局長  
官ノ御話カラハ能ク分リマセヌガ、兎ニ角  
モ五十萬石デハ満足シナイト云フコトデア  
ルト云フト、ソレガ百萬石ニナリマスカ幾  
ラニナリマスカ存ジマセヌガ、サウスルト云  
云フト農林大臣ナリ、米穀局長ナリノ御考

ナリ、御話ニナッテ居ル所ニ付テノ問題ニ觸レテ來ル、沿革的ニ國ノ政策トシテハ端境期ノ持越米トシテ、次ノ米穀年度ニ移ル場合ニ先ヅ五百萬石ヲ標準トシテ持ツテ居ル、其中ノ百萬石トカ云フヤウナモノ、五十萬石ニシテ見テモ其一割ニナル譯アリマスルガ、サウ云フヤウナ米ヲ郷倉デ以テ持ツテ居ルト云フコトニナルト云フト、是ハ大臣、政府委員ノ説明サレタ所ニ矢張リ觸レテ來ルノデアッテ、是ハ相當米價調節ニ關係ガアルト私ハ思フ、サウ云フヤウナ意味ニ於此問題ハ矢張リ米穀政策デアルトイト思ヒマスルガ、ソレハ現行法ニサウコグハル必要ハ私ハナイト思フ、其意味ニ於テ眺メル、サウシテ沿革カラ申シマシテモ、此社倉トカ義倉トカ云フヤウナモノハ、建設ノ當初ノ目的ハ、或ハ社倉ノ場合ニ於テハ福利増進デアル、勿論窮民ヲ救フト云フ意味ハアリマスケレドモ、大體ニ於テ福利増進ノ方デ來テ居ル、サウシテ義倉ノ方ハ天災ノ時ニ救フト云フヤウナ趣旨ガ出发點ニナッテ居リマスケレドモ、經營ヲヤツテ居ルト云フモウ兩方トモ同ジコトニナッテシマフ、出发點ガ違ツテ居ルガ、結

局スル所ハ凶歳ノ時ニハ救フコトニナリ、  
平常ハ矢張リ利息米ガ取レル時ハ利息米ヲ  
取ツテ、倉庫ノ修繕モシナケレバナラヌデア  
ケレバナラヌト云フコトニナリマスルカ  
ラ、矢張リ平常ノ經營ヲシナケレバナラ  
ヌ、常平倉ト雖モ、大體今ノ最高最低ト云  
フヤウナコトヲ、政府ガ設ケテオヤリニ  
ナツテ居ルヤウナコトヲ主トスルノデアリ  
マスケレドモ、矢張リ社會ナドノコトニ付  
テモ援助ヲシナケレバナラヌト云フ關係ヲ  
考ヘマスルト云フト、廣イ意味ニ於テ米穀  
政策ト云フモノノ一端トシテ、今度ノ交付  
米ノ制度ヲ御覽ニナルト云フコトハ私ハ結  
構ダト思フ、其關係カラ社會政策ト云フ問  
題、農村振興ト云フ問題、サウ云フヤウナ  
問題ニ付テ各官廳間ノ細カナル權限ノ關係  
カラ、色ミナ事務ニ澁滯ヲ起シテ見タリ、  
色ミ出願シタリスルヤウナ人ニ對スル不  
便ガ生ジテ來ルヤウナコトガ能クアルノデ  
アリマスルカラ、ソレハ今度ノ案ガ農林  
大臣ガ主トシテ説明シ、其米穀調節ト云フ  
方カラ來テ居ルト云フ思想ヲ大キク今度  
ハ一貫サレテ、鄉倉ノ經營モ亦平素ニ於テ  
ハ產業的ノ經營ヲシナケレバナラヌノデア  
リマス、唯凶歳ノ時バカリト云フヤウナコ

トデ議論ヲスペキモノデナイト思ヒマスルシ、片一方ニ於テ米ノ品種ノ改良ト云フコト、今度ノ場合ニ於テモ農林省デ多年努力サレテ居ル所ノ、東北ニ於ケル品種改良ノ陸羽百三十二號ト云フモノガ非常ニ今度貢獻ヲ爲シテ居ル、其百三十二號ト云フモノガ普及シテ居ナカツタナラバ、今日ノ凶作ト云フモノハコンナコトデハ止ラナイ、デ色ミ此鄉倉ノ經營ト云フヤウナ時ニ當リマシテハ、場合ニ依ッテハ種糲ノ供給ト云フヤウナコトモ考ヘナケレバナラヌデアリマセウシ、色ミナ意味ニ於テ農業ノ指導、獎勵ト相俟ツテ平時、災害時ヲ通ジテノ一貫シタル纏マック御指導ヲ私ハ必要トスルト思フ、其點ニ付テ十分ニ御考慮ヲ煩ハシタイト思フノデアリマスルガ、最初申上ゲマシタ特別會計法ニ付テハ、政府委員ガ衆議院ノ委員會デ説明サレテ居リマス所ヲ見マシテモ、昭和八年度末ニ於ケル米穀需給調節特別會計ノ資金ノ状況デハ、米穀法制定ノ當初カラノ損失金額ガ二億三千四百二十萬六千圓ト云フコトヲ説明サレテ居ル、限度ハ八億五千萬圓、其中二億三千四百餘萬圓ト云フ損失ヲ茲ニ背負ヒ込ンデ居ルト云フ、其會計ノ中カラ千二百五十萬圓ヲ只デ交付スルト云フコトガ、決シテ私ハ簡単ニ

穀特別會計法ト云フモノニ對シマシテノ政  
府ノ從來御執リニナツテ居ル態度ガ、私ハモ  
ウ少シ緊張シテ戴カナケレバイカヌノヂヤ  
ナイカト私ハ思フノデアリマス、農民ニ對  
シテハ借金ノ整理ト云フコトヲ頻リニ申シ  
テ居ラレル、其借金ノ整理ヲ言ッテ居ル政  
府自身ガ一億三千四百萬圓ノ損失ヲチット  
モ整理シナイデ、且ツ米穀政策ノ根柢ヲ成シ  
テ居ル所ノ米穀需給調節特別會計法ト云フ  
モノヲ全部借金デヤッテ居ル、共處ニ何等ノ  
資金ト云フモノハ持ツテ居ラナイ、總テ借金  
デ賄ツテ居ルト云フノデアリマスルカラ、私  
ハ是エ非常ナ眞面目ト云フモノヲ……少シ  
言葉ガ過ギルカモ知レマセヌガ……缺クト  
云フヤウナ意味ニ考ヘラレル虞ガアリハシ  
ナイカト私ハ思フ、農民ニ對シテ借金整理  
ノ指導ヲヤツテ居ル政府ソレ自身ガ、殊ニ農  
民ノ非常ニ大切ニ考ヘテ居ル所ノ米穀調節  
ノ問題ノ根柢ヲ成シテ居ル特別會計ガ借金  
政策デアル、サウシテソレガ一億三千四百  
萬圓ノ穴ガアルノモ打ツチヤラカシテ置キ、  
サウシテ農民ニ向ツテハ借金ヲ整理セヨ、サ  
ウシテ方策ヲ立テナケレバイカヌト云フコ  
トヲ言ツテ居ツテ、政府ガ之ニ對シテドウ云  
フ方策ヲ立テ居ラレルカト云フコトヲ、

私へ先づ仰シヤラナケレバナズ又問題デヤ  
ナカツタノデアリマシテ、一億トカ云フヤウ  
ハ震災ノ時カラアル、少クトモ震災ノ缺損  
位ノコトハ何トカ始末シテハドウデスカト  
云フコトヲ、モウ多年當局トシテモ之ヲ交  
渉サレ、色ニ財政ノ都合モアリマセウ、色ニ  
御苦心ノコトハ能ク拜察シマス、併ナガラ  
何時モソレガ延ビ／＼ニナツテ居ル、ドウ云  
フ意味ニ依リ延ビ／＼ニナツテ居ルカト云  
フト、先ツ米ノ政策ノ方ノ根本ガ定マラナ  
ケレバイカヌヂヤナイカ、ソレガ定ツテカ  
ヲ借金ハ整理スベキモノデアル、斯ウ云フ口  
實ト言ヒマスカ、説明ト申シマスカ、サウ  
云フ意味ニ於テマア其儘ト云フコトデ來テ  
居ル、サウシテ米穀法ト云フモノハ廢止サ  
レテ、ソレハ廢止シタノデアル、サウシテ米  
穀統制法ト云フモノガ出來タノデアル、サウ  
シテ農林省ニ於テ米穀局ト云フモノヲ經常  
職員トシテ官制ノ中ニチャント御認メニナツ  
テ居ル、殆ド今日ニ於テハ米穀問題ハドウモ  
放任スルコトハ出來ナイコトハモウ確力ナ  
事デアル、モウ經常的ニ施設シテ行カナケレバ  
ナラヌト云フコトニナツテ居ルノデアリマスル  
カラ、今日對策ヲ別ニ委員會ヲ設ケテ講ジ

テ居ルトハ言フケレドモ、併ナガラ米穀統制法ガ出來タ際ニ矢張リ私ハ借金ノ整理ト云フコトニ付テ、直グニ下ウセヨト云フコトヲ申上ゲルノヂヤナイ、ケレドモ方針ダケヲ私ハ何カ其處ニ御考ヲ付ケテ戴ク必要ガアルノヂヤナイカト私ハ思フ、一般會計ニ於キマシテ赤字財政ニ於テ成ルベク是ハ公債ヲ漸減シナケレバナラヌ、是ガ鐵則デアルトカ云フヤウナ聲ヲ聞イテ見タリ、兎モ角モ放漫デハイカスト云フコトデ論ゼラレテ居ル、米穀特別會計法ニ於テハ借入金、即チ米穀證券ト云フモノヲ發行シテ運轉シテ居ラレルノデアリマス、其米穀證券ト云フモノハは一年内ニ償還スベキ證券デアル、併ナガラ借換ハ何時デモ出來ルコトデアル、借換シテ又借換ガ出來ルト云フコトニ書イテアル、是ハ私ハ餘程問題ノ規定デハナイカト思フ、一年ノ償還ノ證券ヲ借換ヘ、又借換ヲヤルト云フコトハ結局公債ナシデアリマス、極ク平易ナ言葉デ申シマスト云フト、此度赤字公債ノ一千二百五十萬圓ト云フモノヲ發行シテ、ソレデ米ヲ買ツテ、其米ヲ只デ鄉倉ノ基本米トシテ交付スル、斯ウ云フコトデアル、結局能ク煎ジ詰メテ申シマスト云フト、赤字公債千二百五十萬圓ノ發行ニ依ッテ今度ノ鄉倉ノ施設ノ基礎ヲ

始メル、斯ウ云フコトニナルト私ハ思フ、是ハ私ハ餘程政府トシテ御考慮ヲ煩ヘシタコトニ付テ、直グニ下ウセヨト云フコトヲ申上ゲルノヂヤナイカト私ハ思フ、一般會計ニ付テ、直グニ下ウセヨト云フコトヲ申上ゲルノヂヤナイ、ケレドモ方針ダケヲ私ハ何カ其處ニ御考ヲ付ケテ戴ク必要ガアルノヂヤナイカト私ハ思フ、一般會計ニ於キマシテ赤字財政ニ於テ成ルベク是ハ公債ヲ漸減シナケレバナラヌ、是ガ鐵則デアルトカ云フヤウナ聲ヲ聞イテ見タリ、兎モ角モ放漫デハイカスト云フコトデ論ゼラレテ居ル、米穀特別會計法ニ於テハ借入金、即チ米穀證券ト云フモノヲ發行シテ運轉シテ居ラレルノデアリマス、其米穀證券ト云フモノハは一年内ニ償還スベキ證券デアル、併ナガラ借換ハ何時デモ出來ルコトデアル、借換シテ又借換ガ出來ルト云フコトニ書イテアル、是ハ私ハ餘程問題ノ規定デハナイカト思フ、一年ノ償還ノ證券ヲ借換ヘ、又借換ヲヤルト云フコトハ結局公債ナシデアリマス、極ク平易ナ言葉デ申シマスト云フト、此度赤字公債ノ一千二百五十萬圓ト云フモノヲ發行シテ、ソレデ米ヲ買ツテ、其米ヲ只デ鄉倉ノ基本米トシテ交付スル、斯ウ云フコトデアル、結局能ク煎ジ詰メテ申シマスト云フト、赤字公債千二百五十萬圓ノ發行ニ依ッテ今度ノ鄉倉ノ施設ノ基礎ヲ

對策トシテハ、朝鮮臺灣ノ米ニ對スル問題ノ非常ニ痛切ニ論議サレテ居リマシテ、外地米統制ノ問題ニ付テ色ニ御苦心ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、ソレモ米穀政策ノ一つノ問題トシテ重要視シテ差支ナイト思ヒマスルガ、ソレヲ御定メニナルト云フコト、全體ヲ御定メニナルト云フコト、今度ハ根本對策ヲ御定メニナルト云フコト、サウスレバ會計ニ付テノ矢張リ根本對策モ御方針ダケヘ御決定シテ戴クト云フコトガ私ハ必要デヤナイカト思フ、ソレハ直ニ一般會計カラ損失ヲ、ソレコソ別ニ赤字公債ヲ發行シテ特別會計ノ損失ヲ填補スベシ、是ハ直ニ二億三千萬圓ノ赤字公債ヲ此爲ニ出スト云フコトヲ私ハ申スノヂヤアナイ、併ナガラスクリノ方針デヤルコトガ宜カ出ナコトモスルトカ、兎モ角モ貨幣經濟ノレヲ使ヒ、色ニノ小屋掛け焚出シト云フヤウナコトモスルトカ、兎モ角モ貨幣經濟ノデ居ル、サウシテ必要ニ應ジテ、食糧ニモソレガ行過ギタカラト云ツテ、又極端ニ總テ現物本位デ米ヲスツカリ貯藏スルト云フコトニサレルト、ソレガ果シテ宜イカドウカ疑フノデアリマス、矢張リ金デ持ツテ居ツタ方ガ便利デアルト云フ意味ニ於テ、罹災救助基金法ト云フモノガ出來テ居ル、所ガ農村デハ金ニシテシマウト云フト、却テソレガ徹底シナイト云フヤウナ意味デ、鄉倉ト云フモノヲ今度復舊シテ見ヤウト云フ御

テモ私ハ無理デアラウト思フ、ソレハ行キ過ギタノデアルト云フヤウナ御考ガアルカモ知レマセヌガ、行過ギタカモ知レマセヌガ、併ナガラ全部昔ガ宜イトハ思ヘナイ、罹災要デアルト思ヒマスカラ、私ハ希望スルノデアリマス、サウ云フヤウナ點ノ御考慮ヲ願ヒタイ、若シ何カ御考ニナッテ居ルトスレバ仰シヤツテ戴ケバ非常ニ私ハ仕合セト思フ、ソレハ大體ノ大キナ問題トシテ御尋スルノデアリマス、ソレカラ是ハ鄉倉ナルモノノ經營ニ付テ、私少シ御伺シタインデアリマス、元來此灾害ニ對スル對策トシテハ、現在ハ罹災救助基金法ト云フモノガ設ケラレテ居ツテ、サウシテ臨時ノ災難ヲソレデアル、借換シテ又借換ガ出來ルト云フコトニ書イテアル、是ハ私ハ餘程問題ノ規定デハナイカト思フ、一年ノ償還ノ證券ヲ借換ヘ、又借換ヲヤルト云フコトハ結局公債ナシデアリマス、極ク平易ナ言葉デ申シマスト云フト、此度赤字公債ノ一千二百五十萬圓ト云フモノヲ發行シテ、ソレデ米ヲ買ツテ、其米ヲ只デ鄉倉ノ基本米トシテ交付スル、斯ウ云フコトデアル、結局能ク煎ジ詰メテ申シマスト云フト、赤字公債千二百五十萬圓ノ發行ニ依ッテ今度ノ鄉倉ノ施設ノ基礎ヲ

ヲ自分デ持ツテ居ルト云フコトハ如何ニモ

ル、金デ言ヘバサウ云フモノヲ積マセルト  
云フ結果ニ此交付ノ法律カラナル譯デアリ  
マス、其金ハ大變デアルカラ自力デハ逆モ  
出來ナイカラ、ソコデ貸付ケニシテシマウ  
ノデアルト云フコトニナッテ、總テ貸付ト云  
フコトニシテシマヘバ、ソレヘ町村トシテ  
郷倉ノ經營上便利デアリマスガ、併ナガラ  
救濟ヲ受ケル者ハ困ル、返ス能力ノナイ者  
ヲ即チ救濟スル必要ガアル、斯ウ云フコト  
ナノデアリマス、返還ノ能力ノナイ者ニハ  
貸サナイト云フコトニナルト、困ツテ居る者  
ニハドウモ貸セナイ、ヤツテハ困ルカラヤリ  
モ貸シモシナイト云フ處ガアリハシナイカ  
ト思フ、ヤレバソレダケノ物ヲ積マナケレ  
バナラヌ、貸セバ償還ノ能力ガナイ、サウ  
云フ人ハドウ云フ取扱ニナルカト云フコト  
ヲ私ハ疑問トスルノデアリマス、ソレデ貸  
付ト云フコトニハ餘リコダヘルコトデナク、  
矢張リ交付モサレルコトモ私ハ必要デハナ  
イカト思フ、ソレデ「貸付又ハ交付スルコ  
トヲ要ス」ト云フノハ、今ノ御話ニ依ルト  
四斗ノ米ヲ三月三十一日迄ノ間ニ渡ス、是  
ハ一時ニ御渡シニナルカドウカ存ジマセヌ  
ガ、貸スカヤルカ何方カデナケレバナラヌ  
ト云フコトニ、四斗スル必要モ私ハナイ  
ノデヤナイカト思フ、一斗ハ交付スル、三

斗ハ貸付ケスルト云フコトモ私ハ差支ナイ  
ト思フノデアリマスカラ、矢張リ初メカラ  
ノデアルト云フコトニナッテ、總テ貸付ト云  
ニナッテ、唯後日ノ郷倉ノ經營ニ便利デアル  
ト云フコトカラ此法律ヲ出シタ趣旨、是ト  
モウーツ農民ヲ救ヘナケレバナラヌト云フ  
コトガアル、救フト云フコトヲ主ニシテ此法  
律ハ出來テ居ル、若シ郷倉ト云フコトガ主  
デアルナラバ、ソレヲ第一條ニ御置キニナ  
ル筈デアル、ソレハ特別會計トカ米穀法ト  
カ云フ貯藏ノ關係カラ言フト、少シドウモ  
得心ノ行カナイ意味ノ御説明ヲ拜聽スルノ  
デアリマス、ソンナコトガ二條ニ使ハレテ  
居ルヤウナ氣ガスル程ノモノデアツテ、救濟  
申ス迄モナク適當ナ時期ニ整理ヲ一旦ツケ  
ソレトハ少シ時期ガ遅レルノ外ハナイカト、  
只今ノ事情デハ考ヘテ居リマス、併ナガラ  
申ス迄モナク適當ナ時期ニ整理ヲ一旦ツケ  
居リマスガ、併ナガラ會計ノ整理其モノハ  
ガ主デアル法律ニ對シテ餘リヤラナイ、無  
償デハ交付シナイノデアルト云フヤウナコ  
トデ、此法律ヲ運用サレルト云フコトハ、  
是ハ私ハ餘程考慮ヲ煩シタイト思フノデア  
リマスガ、政府ハ兩方ノ方針デアルトスル  
ガ必要デハナイカト云フヤウニ思フノデア  
リマス、其點ニ付テモ併セテ御考ノ程承リ  
タイト思フノデアリマス

○國務大臣(山崎達之輔君) 最初ノ方ノ御答  
質問ノ半バニ出マシタカラ、或ハ私ノ御答  
ト云フト、ドウモ私ハサウハイカヌト思フ、

ガビッタリ來ナイカモ知レマセヌガ、第一ハ  
ト思フノデアリマスカラ、矢張リ初メカラ  
ト云フコトデアリマスガ、米穀特別會計モ  
相當整理ヲ致ス必要ガアルコトハ獨リ農林  
ニナッテ、唯後日ノ郷倉ノ經營ニ便利デアル  
ト云フコトカラ此法律ヲ出シタ趣旨、是ト  
モウーツ農民ヲ救ヘナケレバナラヌト云フ  
コトガアル、救フト云フコトヲ主ニシテ此法  
律ハ出來テ居ル、若シ郷倉ト云フコトガ主  
デアルナラバ、ソレヲ第一條ニ御置キニナ  
ル筈デアル、ソレハ特別會計トカ米穀法ト  
カ云フ貯藏ノ關係カラ言フト、少シドウモ  
得心ノ行カナイ意味ノ御説明ヲ拜聽スルノ  
デアリマス、ソンナコトガ二條ニ使ハレテ  
居ルヤウナ氣ガスル程ノモノデアツテ、救濟  
申ス迄モナク適當ナ時期ニ整理ヲ一旦ツケ  
ソレトハ少シ時期ガ遅レルノ外ハナイカト、  
只今ノ事情デハ考ヘテ居リマス、併ナガラ  
申ス迄モナク適當ナ時期ニ整理ヲ一旦ツケ  
居リマスガ、併ナガラ會計ノ整理其モノハ  
ガ主デアル法律ニ對シテ餘リヤラナイ、無  
償デハ交付シナイノデアルト云フヤウナコ  
トデ、此法律ヲ運用サレルト云フコトハ、  
是ハ私ハ餘程考慮ヲ煩シタイト思フノデア  
リマスガ、政府ハ兩方ノ方針デアルトスル  
ガ必要デハナイカト云フヤウニ思フノデア  
リマス、其點ニ付テモ併セテ御考ノ程承リ  
タイト思フノデアリマス

質問ノヤウデアリマシタガ、別ニ貨幣經濟  
ガ根本トナツテ居ルヤウニ思ハレルガ、ソ  
レモ考方ガ少シドウカ、斯ウ云フヤウナ  
一般ノ方針論ト云フヤウナ意味ニ於テノ御  
質問ノヤウデアリマシタガ、別ニ貨幣經濟  
イ理論上ノ根據ガアツテ、此案ヲ考ヘタ譯デ  
ハアリマセヌガ、併ナガラ東北ノ實際ノ事  
情カラ申シマスト云フト、唯縣デ備ヘテ居  
リマス糧災救助基金ノ制度ダケデ宜シイカ  
ト云フト、ドウモ私ハサウハイカヌト思フ、  
ルト云フノガ立前ニナツテ居ル譯デアリマ

スカラ、假リニ貸付ヲ致シマシテ翌年取上  
ゲルト云フコトニナレバ、其處ニ非常ナ無  
理ガ出來マスケレドモ、大體ノ原則トシテ

ヲ十分ニ認メテヤリマスガ、貸付ヲ例外ニ  
スルト云フ譯ニモドウモ行キ兼不ルカト思  
ヒマス

ク之ヲ長期ニスルト云フコトガ然ルベキコト、トデアリマスガ、利息ダケデ申シマスト、赤字公債ニ振換ヘルヨリハ、若干國庫ノ負

デ茲ニ取引ヲスルコトニナル譯デアリマス  
ス、今ハ米ハ高イ時デアリマスカラ返ス時  
ハ同數量ノ米ト云フコトデ一應ハ簡単ニ解

五年位ノ期間ニ割リマシテ、本年融通シタ  
モノヲ其間ニ積立ッテ行クト云フコトデヤッ  
テ行ケバサウ無理デハナイノデハナイカ、  
之ヲ寧ロ交付ノ方ヲ主體ニシテ貸付ヲ例外  
ニモナシ得ル、是モ救濟ト云フ點カラ行ケ  
バ御尤ノ御説ト思ヒマスケレドモ、先刻申  
シマシタヤウニ町村トシテ其量ノ米ヲ將來  
ニ蓄積シテ行クト云フ一ツノ大キナ義務ガ  
喰付イテ參ツテ居リマスノデ、町村ノ事情カ  
ラ申シマスト、サウヽドウモ思ヒ切ッテ唯  
給與々々デ出スト云フ譯ニモ參ラヌノデハ  
ナイカト思ヒマス、併ナガラ其邊ニ付テハ  
政府委員カラ御話ヲ申上ゲタコト思ヒマ  
スガ、何レハ町村ノ事情ニ即シタル相當ノ  
内規ト言ヒマスカ、條例等ヲ以テ、或ル標  
準ハ拵ヘルコトニハナリマセウ、本年アタ  
リ、例ヘバ養蠶地方ナドデ縣デ米ヲ買ヒマ  
シテ、サウシテソレヲ非常ニ困ツテ居ル者ニ  
配給シタリ致シテ居リマスヤウナノハ、例  
ヘバ一戸當リ平均ノ戸數割ノ何分ノ一以下  
ノ戸數割ヲ納メル者ニハ云々ト云フヤウナ  
矢張リ村々デソレ相當ノ標準ヲ立テテヤッ

○政府委員(男爵矢吹省三君) 只今農林大臣カラ米穀特別會計ノコトニ付テノ御答が  
ゴザイマシタノデ、私カラ大藏當局ト致シ  
マシテ御答申上ゲル必要ハナイカノヤウニ  
考ヘルノデアリマスガ、一應大藏省ト致シ  
マシテモ、此場合ニ對シテ御答ヲ申シテ  
置キタイト思ヒマス、松村サンノ仰セノ通  
リ米穀特別會計ニ於テ多額ノ損失ヲ擧ゲテ  
居リマスノデ、ソレヲ其儘ニ致シテ置クト  
云フコトハ甚ダ穩當ヲ缺クト云フコトニ付  
テハ同感ナノデアリマス、唯之ヲ整理イテ  
タシマスニ付テハ、一般會計デ之ヲ負擔  
シナケレバナラヌノデアリマシテ、今日ノ  
財政ノ狀況カラ申シマシテマダ左様ナ取計  
ヲスル時期ニ達シテ居ラヌコトヲ甚ダ遺憾  
ト致スノデアリマス、而シテ御承知ノ如ク  
現在ニ於テハ米穀證券ヲ發行シテ其運用ヲ  
計ツテ居ルノデアリマシテ、其米穀證券ノ利  
子ハ今日迄ノ所最低四分七厘位ノ所デ發行  
サレテ居ルノデアリマスカラ、利子ノ點ダ  
ケデ申シマスト、赤字公債ニ振換ヘルヨリ  
リ短期資金ノコトデアリマスカラ、成ルベ

計ヲ輕クシテ居ルト云フ實況ニアルノデアリマス、併ナガラ成ルベク早ク米穀特別會  
願ハシイコトトハ考ヘテ居リマスガ、今申シマシタヤウニ遺憾ナガラマダ整理ヲナス  
時期ニナツテ居ラヌノデアリマス、大體農林大臣ヨリ御答シマシタ通リデアリマスガ、  
大藏當局ト致シマテモ是ダケ申上ゲテ置キマス

決スルヤウニハ見エマスケレドモ、併シ米  
日ノ時期トシテハ考ヘルダラウト思ヒマ  
ス、借リタノヘ四斗借リタ、其値段ハ是位  
ノ時ニ借リタト云フヤウナコトニ矢張リ目  
標ハナルノデアラウト思ヒマスカラ、先刻  
賠償ノ場合ニ於テハ矢張リ豫メ其値段ハ決  
メテ置クト云フコトヲ矢張リ申シテ居ラレ  
ル、特別會計法ノ方ニ御返シスル時ハ矢張  
リ金デ返スコトニナル、ドウシテモ金ト云  
フモノヲ離レテ唯米ト米トヲ眺メテ居ルト  
云フ思想デハ私ハ餘程經營ニ御困リヂヤナ  
イカト云フコトノ御注意ヲ申上ゲテ居ルノ  
デアリマス、自作農創設ニ致シマシテモ今  
度ノ此豫算ノ方ニ矢張リ組替ノ御提案ガア  
ナガラ御經營ニナリタイト云フコトヲ私ヘ  
ルヤウデアルガ、矢張リ米ノ値段ノ變動ニ  
依ツテ色ミシナケレバナラヌ、現物ノ問題ノ  
ミヂヤ一貫シナイカラ、ソレハ御考ヲ持チ  
ナガラ御經營ニナリタイト云フコトヲ私ヘ  
申上ゲテ居ルノデアリマス、ドウシテモ今  
ハモウ總テノモノガ金デ計算サレテ居ルノ  
デアリマスカラ、農村デ如何ニ例ヘバ自給

云フモノガ入り込ンデ居ル時代デアリマスカラ、其コトヲ御考ニナリナガラ御經營ヲ願ヒタイ、現状ガ東北ナドハソレデアルカラ金ノコトハ餘り考ヘナイデ宜イデヤナイカト云フノアルナラバ、益々私ハ農村ト云フモノガ困ル地位ニナリヤシナイカ、少シハ……貨幣經濟ノコトニ付テノ理解ヲ農村ガ高メナイコトガ今日ノ農村ガ取残サレルト云フコトノ一つノ原因ヂヤナイカト私ハ思フ、ソレハ色ニ外ニ論及シタイコトハアリマスケレドモ、此問題ト少シ離レルヤウデアリマスカラ、自作農ガ今言ツタヤウナ工合ニ矢張リ米ノ値段カラ割出シテ居ル、用排水幹線ノ改良事業ノ補助ト云フヤウナコトニ付テモ皆、米ノ收穫、ソレカラ直グニ米ノ値段ノ換算ト云フコトガ直グニ付イテ來ル、ソレヲ少シ御考ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソメ納ノ小作ニナツテ居ル、其米納小作ト云フモノヲ直ニ金納ニシロトハ私ハ申サナイ、併シ米納小作ハ金デハ一體幾ラニナルカト云フコトヲ考ヘナガラ小作問題ヲ見ルト云フヤウナ工合ニ段々持ツテ行カナイト、此今度ノ案モ矢張リ米價調節ノ一端ト云フコトヲ

申シテ居ラレルノデアルガ、價格調節ノヤ  
ウナ場合ニハ本當ニ觸レテ來ナイト云フコ  
トヲ考ヘル意味ニ於テ、何モ此案ヲ根本的  
ニ不都合デアルト云フコトヲ申上ゲテ居  
ノデハアリマセヌ、餘程極端カラ極端ヘ行  
カナイヤウニ、貨幣經濟ニ行過ギタカラト  
云フノデ、今度ハ昔ノ自給經濟、物的經濟  
ノ方ニ全然逆行スルヤウナコトヲスルト又  
行過ギルコトニナル虞ガアリヤシナイカト  
云フ意味ニ於テ申上ゲテ居ル次第デアリマ  
ス、此點ハ誤解ノナイヤウニ實ハ御聽取り  
ヲ願ヒタイト思フノデアリマス

○政府委員(赤木朝治君) 先刻私ノ申上ゲ  
マシタ中ニ數字ヲチヨット間違ヘテ居リマ  
シタカラ此際訂正ヲ致シテ置キタイト思ヒ  
マス、鄉倉ノ經費ト致シマシテ國費百八十  
萬餘圓ト申上ゲマシタガ、ソレハ國費百六  
十三萬圓ト云フノデゴザイマス、數字ヲ少  
シ間違ヘテ申上ゲテ置キマシタカラ此際訂  
正イタシテ置キマス

○石川三郎君 私ハ午前質問ガアッタカ分  
リマセヌカラ理由ハ申シマセヌ、率直ニ御  
尋イタシマスガ、村ヘ半作以上デアリマシ  
テモ、其村内デ半作以下ノ部落ハ澤山アル  
ノデアリマスガ、サウナリマスト、此法案  
ハ村單位ニナツテ居リマスカラ、サウ云フ部

通リデゴザイマシテ、此法案ノ運用サレマ  
ドウ云フ運用ヲナサレルノデアリマスカ  
落ハ借ルコトガ出来ヌヤウニナリマスガ、  
○政府委員(荷見安君) 只今ノ點ハ御話ノ  
スル際ニハ、米作ガ大體平年作ノ半バニ達  
シナイト云フ町村ヲ目標ト致シテ居ルノデ  
アリマスカラ、サウ云フ條件ニ適合シマセ  
ヌ町村ニ對シマシテハ、是ハ別途ニ或ヘ米  
穀統制法ニ依ル整理米ノ賣却デアルトカ、  
或ハ買換ニ代ルベキ貸付米トカ云フヤウナ  
方法ニ依ツテ救濟出來ルダケハ救濟スルヤ  
ウナ積リデ居リマス

北海道青森方面ニ貨付ヲ致シタコトモゴザイマスシ、ソレカラ代金延納ノ拂下ヲ災害地ニ致シタコトモアリマス、ソレデソレト申シマスカ、米ノ配給ノ調節ヲ圖リ得ナイ部分ニ對シテヘ、出來得ル範圍内ニ於テ實行シタイト考ヘテ居リマス

○松村眞一郎君　社會局長官ノ御答辯デハ主トシテ東北ニ付テノ御計畫ノヤウニ承ッタノデアリマスガ、農林省ノ方デハ東北ニ限ラズ交付サレル、サウシテ第二條ノ適用ハ矢張リアルト云フコトニナリマスカ、内務省トシテモ矢張リ全國的ニ郷倉ト云フモノヲ普及シヨウト云フ御考デアルノデアリマスカ、農林省トシテハ米穀調節ノ一端トシテサウ云フ制度ヲ矢張リ全國的ニヤッテ見タイト云フコトヲ御考ニナッテ居ルノデアリマスカ、是ハ唯當座ノ場合ノ問題デアリマスケレドモ、此適用ノアル所デ限ラヴァト云フノデアリマスカ、何カ將來ニ付テモ御考ニナッテ居ルノデアリマスカ、若シ將來ニ付テ御考ニナッテ居ルモノトスルナラバ、備荒貯蓄ト云フコトニ付テモ何等力其處ニ基本規定ヲ定メラレル必要ガアルノデハナイカト思フノデアリマスガ、サウ云フ點ニ付テノ大體ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

○政府委員(赤木朝治君) 今回計畫イタシ  
テ居リマスルノハ、先刻申上ゲマシタヤウニ、御  
下賜金ニ伴ヒマシテ計畫イタシタノデアリ  
マシテ、御下賜金ガ東北地方ト云フ御趣旨  
デゴザイマシタノデ、之ニ伴フ計畫ト致シ  
マシテハ東北地方ノミヲ目標ト致シテ計畫イ  
タシテ居ルノデアリマス、東北地方以外ニ斯様ナ  
制度ヲ設ケマスコトニ付テハ、此際ハ計畫  
ヲ同時ニハ致シテ居リマセヌノデアリマ  
ス、是モ必要ナ所ニ付キマシテハ將來考ヘ  
ナケレバナラヌカト考ヘテ居ルノデアリマ  
ス、尤モ此點ニ付キマシテハ農林省ノ方ニ  
別途ノ御考案ガアルサウデアリマス、或ハ  
農林省ノ方カラ御話ガアルカトモ存ズルノ  
デアリマス、尙ホ此備荒ニ付キマシテノ根  
本法ヲ作ル必要ガアルデハナイカ、斯様ナ  
御意見デゴザイマスガ、是ハ法ヲ作ルコト  
モ必要カトモ存ジマスルガ、御承知ノヤウ  
ニ現在東北地方ニハ相當數ノ郷倉ガゴザイ  
マスノデ、之ニ付キマシテハ制度ト致シマ  
シテハ別ニ左様ナ根本法ハナイノデアリマ  
スケレドモ、實際ニ依ル運用ガ出來テ居リ  
マスルノデ、差當リノ問題ト致シマシテ  
ヘ、現在行ハレテ居リマスルヤウナ實際ノ  
運用ニ依リマシテ之ヲ運用サセテ見タイト  
斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、尤モ此運

用其他ニ付キマシテハ一定ノ方針ノ下ニ之  
ヲ致サセマス必要ガゴザイマスノデ、大體  
ノ方針準則ト云フヤウナモノヲ定メマシ  
テ、町村條例ヲ定メ、或ヘ郷倉ノ關係ノ規  
約ヲ定メサシテ、之ニ依ッテ運用イタサセタ  
イト斯様ニ考ヘテ居ル次第デアリマス  
○政府委員(荷見安君) 附加ヘテ申上ゲテ  
置キマスガ、今松村サンカラ御尋ノ東北六  
縣以外ノ地方ニ對シマシテモ、此法律ニ依ッ  
テハ米モヤリマス、サウ云フコトニナリマ  
スト昨年來獎勵イタシマシテ參リマシタ、  
糲ノ貯藏獎勵ノ爲ニ作ツタ倉庫ナドモアリ  
マスカラ、ソレモ利用ノ出來ル部分ハ利用  
イタシマスシ、又ソレガ普及イタシマセヌ  
處ニ付キマシテハ、何カ豫算ノ都合デモ付  
ケマンテ出來ル限り町村ニモ倉庫ノ設備ナ  
ドモ出來ルヤウニサセタイト斯ウ考ヘテ居  
ル次第デアリマス、尙ホ一般的ニ此米穀調  
節ノ目的ヲ以テ米ヲ貯藏サセマスコトニ付  
キマシテハ、只今内閣ニ設置シテアリマス  
米穀對策調查會ノ特別委員會デ色ニナ案ガ  
審議イタサレテ居リマスノデ、若ジセソレ  
ガ成案イタシマスレバ、御話ノヤウナ今少  
シ詳細ナ規定ヲ設クル必要ガ出テ來ルノデ  
スウ思ツテ居ルノデアリマス

場合一ト云フコトガ書イテアリマスガ、是  
ハ如何ナル場合ヲ指スノデアリマスカ、今  
ニツハ第一條ニ依リマスト、備荒貯蓄ヲス  
ル米穀ノ數量ハ能ク分リマスガ、第四條ニ  
約ヲ定メサシテ、之ニ依ッテ運用イタサセタ  
場合ハ、其數量ハドウ云フ風ニシテ決定シ  
タノデアリマセウカ、其二點ヲ承ハリタイ  
ノデアリマス  
○政府委員(荷見安君) 附加ヘテ申上ゲテ  
置キマスガ、今松村サンカラ御尋ノ東北六  
縣以外ノ地方ニ對シマシテモ、此法律ニ依ッ  
テハ米モヤリマス、サウ云フコトニナリマ  
スト昨年來獎勵イタシマシテ參リマシタ、  
糲ノ貯藏獎勵ノ爲ニ作ツタ倉庫ナドモアリ  
マスカラ、ソレモ利用ノ出來ル部分ハ利用  
イタシマスシ、又ソレガ普及イタシマセヌ  
處ニ付キマシテハ、何カ豫算ノ都合デモ付  
ケマンテ出來ル限り町村ニモ倉庫ノ設備ナ  
ドモ出來ルヤウニサセタイト斯ウ考ヘテ居  
ル次第デアリマス、尙ホ一般的ニ此米穀調  
節ノ目的ヲ以テ米ヲ貯藏サセマスコトニ付  
キマシテハ、只今内閣ニ設置シテアリマス  
ヒマシテ設ケタ譯デアリマス、其場合ニ其  
ノ爲ニ宜シイト云フヤウナ、特殊ノ事情ノ  
アル、實際畑作ナドノ多イ處ニ於テハ、サ  
ウ云フモノモ認メナケレバナラナイカト思  
ヒマシテ設ケタ譯デアリマス、其場合ニ其  
落トカ縣トカ云フ單位、デナクシテ、個人ヲ  
救濟スルノガ本義デナクテハナラヌ、然ル  
ニ此法案ノ説明ヲ聽キマスル時ニハ、ドウ  
モ交付ガ本體ノヤウニ聽カレマスルシ、今  
私ガ尋ネマシタ村デナクシテモ、二分ノ一  
以上ノ損害ヲ受ケタ部落ニ付テ尋ネマスル  
ト、全ク此部落ニ對シテハ貸付本位デア  
ル、同ジ災難ヲ受ケタ、其災難ニ對シテノ  
救助ハ個人ガ本體デアルノニ、何故サウ云

○岩崎清行君 第四條ニ「特別ノ事由アル  
場合」第四條ノ「市町村特別ノ事由アル場合  
ニ於テ」ト云フ特別ノ事由ト云フノハ…  
○政府委員(荷見安君) 是ハ結局米作ナ  
ント云フモノハ旨ク行キマセヌノデ、烟  
作ナドヲ經營シテ行クト云フヤウナコト  
ニナシテ參リマスルト云フト、米ヲ積マ  
セヤウトシテモ無理ガ出來マスカラ、  
サウ云フ場各ニハ粟トカ稗トカ云フヤ  
ウナモノヲ積マセルト云フコトニシナケレ  
バイケナインデアリマス、農村ノ詰リ農業  
經營ノ方法ガ水田ノ方面ニ餘リ適セヌカラ  
ト云フコトニナシテ、外ノ穀物ガ良ク出來ル  
其處ノ村ノ情況カラシテ、ドウシテモ外ノ  
粟トカ稗トカ云フモノヲ貯藏シタ方ガ備荒  
ノ爲ニ宜シイト云フヤウナ、特殊ノ事情ノ  
アル、實際畑作ナドノ多イ處ニ於テハ、サ  
ウ云フモノモ認メナケレバナラナイカト思  
ヒマシテ設ケタ譯デアリマス、其場合ニ其  
落トカ縣トカ云フ單位、デナクシテ、個人ヲ  
救濟スルノガ本義デナクテハナラヌ、然ル  
ニ此法案ノ説明ヲ聽キマスル時ニハ、ドウ  
モ交付ガ本體ノヤウニ聽カレマスルシ、今  
私ガ尋ネマシタ村デナクシテモ、二分ノ一  
以上ノ損害ヲ受ケタ部落ニ付テ尋ネマスル  
ト、全ク此部落ニ對シテハ貸付本位デア  
ル、同ジ災難ヲ受ケタ、其災難ニ對シテノ  
救助ハ個人ガ本體デアルノニ、何故サウ云

フ風ニ同ジ問題ニ對シテ一樣ノ意義ヲ採ラ  
ルルモノデアルカ、其處ヲ能ク分ルヤウニ  
仰シヤッテ下サイ

○政府委員(荷見安君) 是ハ私共ガ調査イ  
タシテ居リマスノニ、部落單位ノ豐凶ノ程

度ト云フモノヲ正確ニ調べル方法ガナイン  
デアリマシテ、大體ガ町村位ガ單位デアリ  
マセヌト、五割程度ノ凶作デアルカドウカ  
ト云フコトハチヨット分リ兼ネマス、又部落

ノ線ノ引キヤウニ依リマシテハ、町村ヲ色  
色ニ分ケテ參ルノデアリマスカラ、色々ナ  
場合モ起ルト思フノデアリマシテ、サウナ  
リマスト非常ニ認定ガ困難ニナリマスカ  
ラ、市町村ト云フコトデハ御話ノヤウニ實

際上ハ甚シク適當シナイ場合モアラウト思  
ヒマスケレドモ、已ムラ得ズ市町村ト云フ  
モノヲ單位ニ致シマシテ、其處ノ市町村ガ  
米作ガ半作程度デアルカドウカト云フコト  
ニ依ツテ致サウトスウ云フ風ナコトカラ、此  
案ガ成立イタシタノデアリマスカラ、從テ  
一町村トシテ米作ガ半作以下ニナリマセヌ  
場合ニハ、此法律ヲ適用スル譯ニ參ラナイ  
仕組ニナッテ居リマス、從テサウ云フ場合ニ  
ハ米穀統制法ノ運用ニ依ツテ出來得ル範囲  
内ニ於テ其便宜ヲ計ツテ行クヨリ外ハ致方  
ガナイト云フコトヲ申上ゲタ譯デアリマス

○石川三郎君 時間ガナインデ恐縮デアリ  
マスカラ之ヲ以テ終リマス、今ノ統制法ノ  
運用ニ依ルノハ何處マデモ貸付本位デア  
ル、救助交付ト云フコトハアリマセヌ、ソ  
レカラ村デハ半作以下ト云フ實際ガ分ルケ  
レドモ部落デハ分リ兼不ルト云フノハ、是

ハ全ク御逃ゲノ御言葉デアリマス、サウ云  
フ理窟ノアラウ筈ハアリマセヌ、一村ノ中  
デモ山間部ノ部落ガアリ、或ハ海岸近クデ  
灌漑用水ノナイ部落ガアツタリシマスルカ  
ラ、部落ノ半作以下ト云フコトコソ、却ツテ

村ノ半作ト云フコトヨリモ明瞭ニ調ベハ

コトハドウシテモ調査困難デアルト云フヤ

ウナコトガ日本ノ國內ニアリ得ル筈ガナイ

ト思フ、モウ今日ハ非常ニ統計モ進ンデ居

リマシテ、村ノ統計係ト云フモノモ相當昔

ト違ツテ居リマス、金ヲ吳レテ養成シテ居リ

マス、練熟サレテ居ル、私ハ全ク御逃ゲノ

言葉ト思ヒマスガ、ドウ云フコトデアリマ

スカ

○石川三郎君 恐縮デアリマスガ、今部落  
毎ニ調べハ困難デアルト仰シヤイマシタガ、  
困難デアリマセヌ、村ノ調査ハ部落ニ依ツ  
テ出来テ居ル、村ノ調査ガ分ツテ居レバ……  
村落ガ分ラナクチヤ村ガ分ラナイ、直グ分  
ルノデアリマス、私ガ請負フテ調べマス、  
村落調査ガ分ツテサウシテ村ノソレヲ知ル  
ノデアリマス、ソレカラモウ一ツ此場合ニ  
ト思ヒマスガ、學者ニ無學者ノ說法カラ知  
定ノ基礎ニナルヤウニ報告ヲ御取リニナル  
コトガ最モ正鶴ナル貸付ヲ行フ所以デアル  
ト思ヒマスガ、御願イタシテ置キタイノハ、縣廳ガ村ニ對  
シテハ、不作ノ調べヲサセマスノニ、統計  
課ヨリモ村ニ言ウテ來ル、學務課カラモ言ツ  
テ來ル、農務課カラモ言ウテ來ル、役場ハ  
實ニ報告ニ忙殺サレテ居ルヤウナ次第デア  
リマス、昨日學務課カラ町村ニ言ウテ來テ、  
ルト、又統計課カラ言ウテ來ル、何トカク  
シ部落ノ調査ガ不精密デアル、斯ウ云フ御

ニ調査ヲサセルニ付テモウ少シ……郡役  
所モ無クナリマシテ只デサヘモ忙シイ村デ  
アルカラ、簡潔ナ方法ヲ採ツテ載クヤウニ  
ベヲ取ツテ居リマシタノデハ、此法案ハ急  
グ爲ニ甚ダ適シナイト思フノデアリマス、  
分ツタ部分ノ區域ニ付テ公平ニヤッテ行ツタ  
方ガ宜カラウ、併シ全部ソレヲ調査イタシ  
マシテ、基本的ニ又案ヲ立テルト云フコト  
ニナルト、ナカノ短期間ニハ參リマセヌ、  
ソレハモウ長イ間農作物ノ統計ハ市町村單  
位デ農林省トシテハ調査シテハ居ル譯デア  
リマス

○政府委員(荷見安君) 只今ノ農林省ノ作

況統計ハ、總テ市町村ヲ單位トシテ其調査

ヲ致シテ居リマスガ、御話ノヤウニ一町村

一町村ニ就キマシテ調べヲ致シマスレバ、

考ガアレバ、ソレヲ基礎ニシテ報告シテ居ル村ノ報告モ不精密デアリマス、其邊ニ付テハドウ云フ風ニ御考ニナリマスカ  
○政府委員(荷見安君) 一應私ノ申上ダタコトモ補充イタシテ置キマスガ、町村全體ヲ通ジテ五割以上ノ凶作ト云フヤウナ場合ニハ、其深刻ノ度ハ……町村ヲ通ジテ五割ニ達シナイ町村ヘ、或ル部落ハ平年作デアルガ、其數部落ノ中ノ一部落ガ五割ニ達シタト云フ所、即チ町村全體ヲ通ジテ五割以上ノ作柄ガアツタ時トハ、困難ノ程度ガ違フト思ヒマス、ソレカラ調査ノ御話デアリマスガ、私共東北六縣ノ調査ヲ致シマシタ場合ニモ、斯ウ云フ風ナ條件デ斯ウ云フヤウナ處ハナイカト云フ調査ヲ致シタノデアリマシテ、交付米ラスルカラト云フコトデ調査ヲ致シタノデアリマセヌカラ、恰モアナタノ仰シャルヤウナ方法ニ依ツテ今回ハ調查ヲ致シテ居ルノデアリマス

○松村圓一郎君 私モウ少シ疑フ持ツノデアリマスガ、ドウモ本件ノ事項ニ付テハ交付ト云フコトハ餘程輕ク視テオイデニナツテ貸付本位ノヤウニ承ルノデアリマス、併シ災難ニ遭ヒマシタ場合ニハ、或ル程度ノトシテハ不都合ナモノデアルト云フヤウニ

御考ニナツテ居ルノデハナイカト私ハ思フ、  
サウ云フコトニナルト災難ニ遭ツタ者ハ結  
局救ハレル機會ガ私ハナクナツテシマフノ  
デハナイカト思フ、農林省デハ今ドウ云フ  
ヤウナ程度デ御進行ニナツテ居ルカ存ジマ  
セヌガ、農業保険デ收穫保険ノヤウナコト  
ヲ若シ御實行ニナレバ、保険料ヲ拂ツタダケ  
デ保険金ガ取レルノデアリマス、ソレハ自

農業者ソレ自體ヲ指シマスモノデアリマス  
カ、何レ凶作地ニ於キマスル市町村ノ住  
民ニハソレゞ商工業者ヲ含マレテ居ルモ  
ノカト思ヒマス、其凶作ノ影響ハ從ツテサウ  
云フ範圍マデ及ンデ居ルノデヘナイカト考  
ヘラレマスガ、此法ノ適用ヲ受ケマス範圍  
ハ廣義ニ解釋シマスモノカ、其點ヲ伺ツテ置  
キタイ

町村ガ米穀ヲ交付シタ場合ノ備荒貯蓄ノ補充ヘドウ云フ方法デオヤリニナル積リデアリマスカ

○政府委員(荷見安君) 是ハ市町村ガ租稅收入、其他ニ依ツテ自分ノ財産デ以テ、米ヲ買フナリ致シテ、積立テテ貰フ、斯ウ云フ積リデアリマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 如何デゴザイ

分ガ拂ツク金ダケガ返ツテ來ルノデハナイ、  
其思想デ行キマスト、政府カラ交付サレタ、  
貸付ケラレタ米全部ヲ返サナケレバナラナ  
イト云フノデナケレバイケナイト云フコト  
ハ救濟ノ思想トカト云フヤウナ場合ニ、餘  
程適サナイヤウニ私ハ思フ、矢張リ本件ノ  
實行ニ付テハ無償交付ト云フコトヲ或ル程  
度加ヘテ御實行ニナルベキモノト私ハ思フ  
ノデアリマス、其點ニ付テ別ニ御答辯ヲ要  
求スルノデハアリマセヌガ、モウ少シ御考  
慮ヲ願ヒタイ

○男爵足立豊君 只今マデノ御質問ニ依リ  
マシテ、大體ノコトハ諒承イタシマシタ、  
唯一點伺ツテ置キタイ點ガアリマス、ソレハ  
第一條ノ適用ヲ受ケマス、「市町村ハ其ノ住  
民ニ其ノ米穀ヲ貨付又ハ交付スルコトヲ要  
ス」ト云フ何ガアリマスガ、此住民ト云フ  
コトハ廣義ニ解釋イタシマスモノカ、或ハ

○政府委員(荷見安君) 只今ノ御質問ノ佳  
民ノ範圍ヲドウスルカト云フ問題デアリマ  
ス、是ハ凶作ニ依リマシテ非常ナ打撃ヲ受  
ケタ者ト云フ觀念カラ出テ居リマスカラ、  
主ニ米作ニ從事スル農民ト云フ考ヲ有ツテ居  
リマスガ、必ズシモソレニ限局シテ、一步  
モ出ナイト云フ譯ニモ參リマスマイカラ、  
他ノ農民デアリマシテモ、米作ハ極メテ僅  
シカ作ツテ居ラヌガ、他ノ穀物ヲ作ツテ居ル  
者トカ云フヤウナ者ニモ此貨付或ヘ交付ハ  
行ハレルコトト思ヒマス、尙ホ地方ノ實情  
ニ依リマシテ、其點ハ又十分地方廳トモ打  
合セテ決メタイト思ツテ居リマスノデ、命令会  
事項トシテハ、市町村ハ此米穀ノ貸付ケ又  
ハ交付ヲ受クル住民ノ範圍ヲ條例等ヲ以テ  
決メルト云フコトニ致シテ置キマシタノデハ  
十分研究シテ決メタイト思ヒマス

マスカ、大分御質問モアリマシタヤウデゴザイマスガ、此程度デ止メテ宜シウゴザイマスカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ」

○委員長(伯爵酒井忠正君) 御異議ガナケレバ質問ヲ此程度ニ止メマシテ、討論ニ入りタイト思ヒマス、御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ」

○委員長(伯爵酒井忠正君) ソレデハ討論ニ入りマス

○子爵片桐貞央君 私ハ此本案ニ賛成スル意見デアリマス、本案ハ非常ニ重要ナ法案デゴザイマスノミナラズ、現今ノ東北地方ノ農民ノ窮状ニ對シテハ、此情況ガ天聽ニ達シマシテ、畏クモ御内帑金ヲ御下賜アラセラレマシテ、内務省ニ於キマシテハ、色々ナ關係上、鄉倉ノ設備、其他ヲ以テ將來ヲ計リタイト云フヤウナ考ガゴザイマスノ

第四部第三類  
凶作地ニ對スル政府所有米穀ノ臨時交付ニ關スル法律案特別委員會議事速記錄第一號

デ、此法案ハソレトハ密接ナ關係ヲ有ツテ

居リマスノデ、是ノ運用ニ對シマシテハ非

常ニ此運用ノ如何ニ依リマシテハ、色ミト

事ガアルダラウト思ヒマスノデ、此運用ヲ

十分ニ、圓滑ニシテ旨クヤラレテ、此效果

ヲ十分ニ現サレムコトヲ偏ニ希望スル次第

デゴザイマス、尙ホ此法案ノ效力ノ範圍外

ノ窮乏ノ縣民ノ狀況ト地域ニ於キマシテモ、

大臣カラモ先程御話ガアリマシタヤウニ、

此法案ノ適用ガゴザイマセヌデモ、他ノ方

法ニ依シテ十分救濟セラレ、現今ノ農民ノ窮

乏シテ居ルノヲ救ハレルヤウニ適宜ノ處置

ヲ御執リニナラムコトヲ希望イタシマス、

此意味ニ於キマシテ、私ハ此法案ニ賛成ヲ

致シマス

○委員長(伯爵酒井忠正君) 他ニ御發言ガ

ゴザイマセヌケレバ、直ニ採擇ニ入りタイ

ト思ヒマス、凶作地ニ對スル政府所有米穀

ノ臨時交付ニ關スル法律案、全部ヲ問題ニ

供シマス、本案通リデ御異議ゴザイマセヌ

カ

(異議ナシ)ト呼フ者アリ)

○委員長(伯爵酒井忠正君) 御異議ナイト

認メマス、ソレデハ是デ散會イタシマス

午後三時二十四分散會

出席者左ノ如シ

委員長 伯爵酒井 忠正君

副委員長 男爵伊藤 文吉君

委員 公爵鷹司 信輔君

公爵島津 忠承君

子爵片桐 貞央君

子爵織田 信恒君

子爵綾小路 護君

松村眞一郎君

桑山 鐵男君

男爵足立 豊君

男爵杉溪 由言君

赤池 濃君

石川 三郎君

岩崎 清行君

國務大臣  
政府委員

農林大臣 山崎達之輔君

内務參與官 伯爵橋本 實斐君

社會局長官 赤木 朝治君

大藏政務次官 男爵矢吹 省三君

大藏書記官 山田 龍雄君

農林政務次官 守屋 榮夫君

農林省米穀局長 荷見 安君